

## 第2章 福岡市墓地・納骨堂に関する市民アンケート調査

### 1 調査概要

(1) アンケートの目的

この調査は、福岡市民の墓地・納骨堂に対する意識調査をすることで需要予測を行い、併せて福岡市及び近郊での墓地・納骨堂の利用実態等を調査することにより、墓地行政の参考にすることを目的とする。

(2) 調査時期 : 調査票発送 平成27年6月8日 回収締切 平成27年6月21日

(3) 調査の対象 : 総発送数2,000人

○福岡市民(30歳以上の市民を住民基本台帳から無作為抽出)

○各区の人口比に応じて配布

(4) 調査方法 : 郵送による送付・回収

(5) 調査票 : 別添(P92~101)

(6) 回収数 : 発送数2,000に対し、有効回収数(サンプル数)は707、有効回収率は35.4%であった。

(7) 集計・分析 : 株式会社サーベイリサーチセンター 九州事務所

## 2 市民用アンケートの分析結果

### 標本構成

本調査で有効回収を得た707人の属性は下表のとおりである。

問1. 性別 上段：実数  
下段：%

全体	男性	女性	無回答
707	317	387	3
100.0	44.8	54.7	0.4

問2. 年齢

全体	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
707	90	116	135	184	179	3
100.0	12.7	16.4	19.1	26.0	25.3	0.4

問3. 世帯での役割

全体	世帯主	世帯主の配偶者	世帯主の配偶者以外の同居家族	その他	無回答
707	410	251	38	3	5
100.0	58.0	35.5	5.4	0.4	0.7

問4. 配偶者の有無

全体	いる	いない	無回答
707	505	194	8
100.0	71.4	27.4	1.1

問5. 親との続柄

全体	長男	長女	長男・長女以外	無回答
707	172	238	287	10
100.0	24.3	33.7	40.6	1.4

問6. 居住区

全体	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区	無回答
707	143	81	86	120	61	113	101	2
100.0	20.2	11.5	12.2	17.0	8.6	16.0	14.3	0.3

問7. 福岡市継続居住予定

全体	できれば福岡市に住み続けたい	市外に転出しても、いずれは福岡市に戻って暮らしたい	いずれ市外に転出した	わからない	無回答
707	609	9	19	66	4
100.0	86.1	1.3	2.7	9.3	0.6

問8 住まいの近くに新しく墓地ができることについて

あなたのお住まいの近くに新しくお墓や納骨堂ができるとしたら、あなたはどのように思いますか。  
お墓と納骨堂それぞれについて、お考えに近いものをお選びください。(〇はそれぞれ1つだけ)

【墓地】

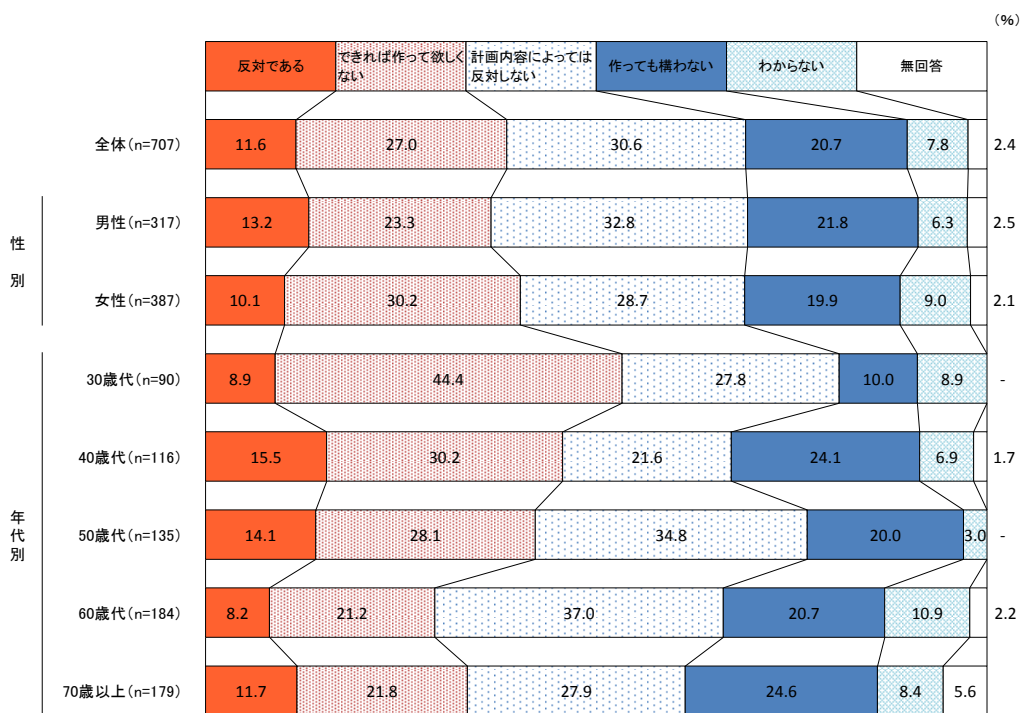
住まいの近くに新しく墓地ができることについて聞いたところ、「計画内容によっては反対しない」と「作っても構わない」を合わせた『反対しない』は51.3%、「反対である」と「できれば作って欲しくない」を合わせた『反対する』は38.6%となっている。

性別では、特に差異はみられない。

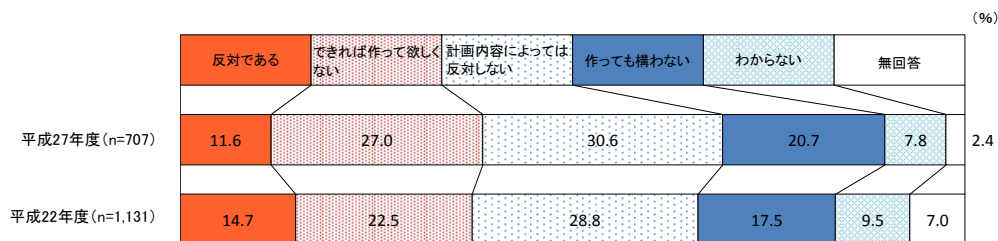
年代別に『反対しない』をみると、30歳代(37.8%)から70歳以上(52.5%)で加齢増加傾向を示し、『反対する』は30歳代(53.3%)から70歳以上(33.5%)で加齢減少傾向を示している。

過去の調査結果と比較してみると、『反対しない』は平成27年度(51.3%)が平成22年度(46.3%)より高くなっている。

図表-2-1 住まいの近くに新しく墓地ができることについて【性別、年代別】



図表-2-2 住まいの近くに新しく墓地ができることについて【過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問8 住まいの近くに新しく納骨堂ができることについて

あなたのお住まいの近くに新しくお墓や納骨堂ができるとしたら、あなたはどのように思いますか。  
お墓と納骨堂それぞれについて、お考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つだけ)

【納骨堂】

住まいの近くに新しく納骨堂ができることについて聞いたところ、「計画内容によっては反対しない」と「作っても構わない」を合わせた『反対しない』は67.0%、「反対である」と「できれば作って欲しくない」を合わせた『反対する』は22.5%となっている。

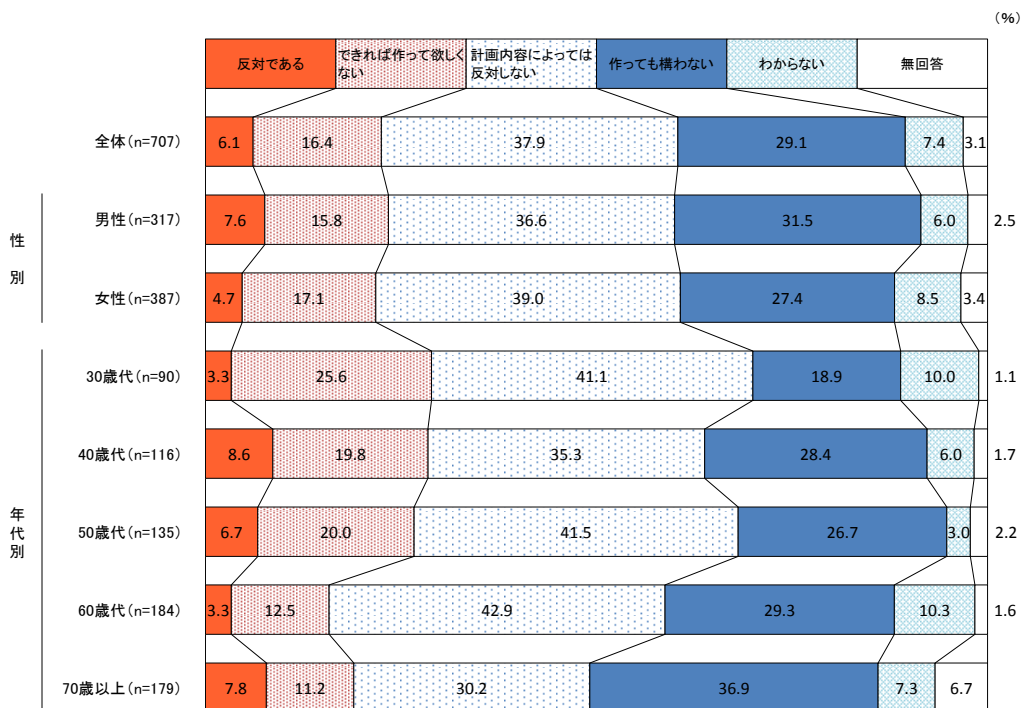
性別では特に差異はみられない。

年代別に『反対しない』をみると、30歳代(60.0%)から70歳以上(67.1%)で加齢増加傾向を示し、『反対する』は30歳代(28.9%)から70歳以上(19.0%)で加齢減少傾向を示している。

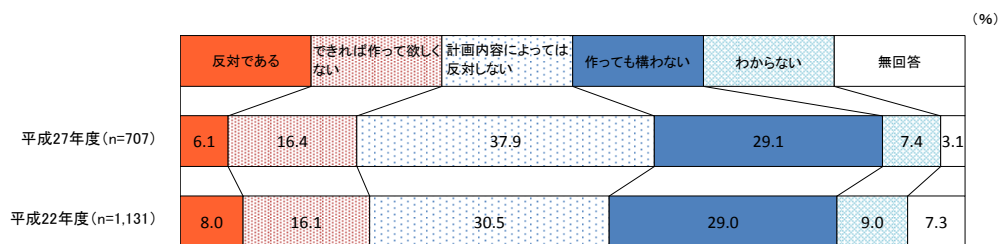
過去の調査結果と比較してみると、『反対しない』は、平成27年度調査(67.0%)が平成22年度(59.5%)より高くなっている。

全体的傾向を前項の墓地に関する意向と比較すると、全体での『反対しない』は墓地が51.3%であるのに対し、納骨堂は67.0%で、比較的納骨堂の方が市民の許容度合いが高いことがわかる。

図表-2-3 住まいの近くに新しく納骨堂ができることについて【性別、年代別】



図表－２－４ 住まいの近くに新しく納骨堂ができることについて【過去の調査結果との比較】



問9 墓地・納骨堂の所有

あなたは、現在利用できるお墓や納骨堂を持っていますか。(○は1つだけ)

※「利用できるお墓や納骨堂」とは、あなた(あなたの親近者を含む)が亡くなったときに納骨できるお墓や納骨堂のことです。

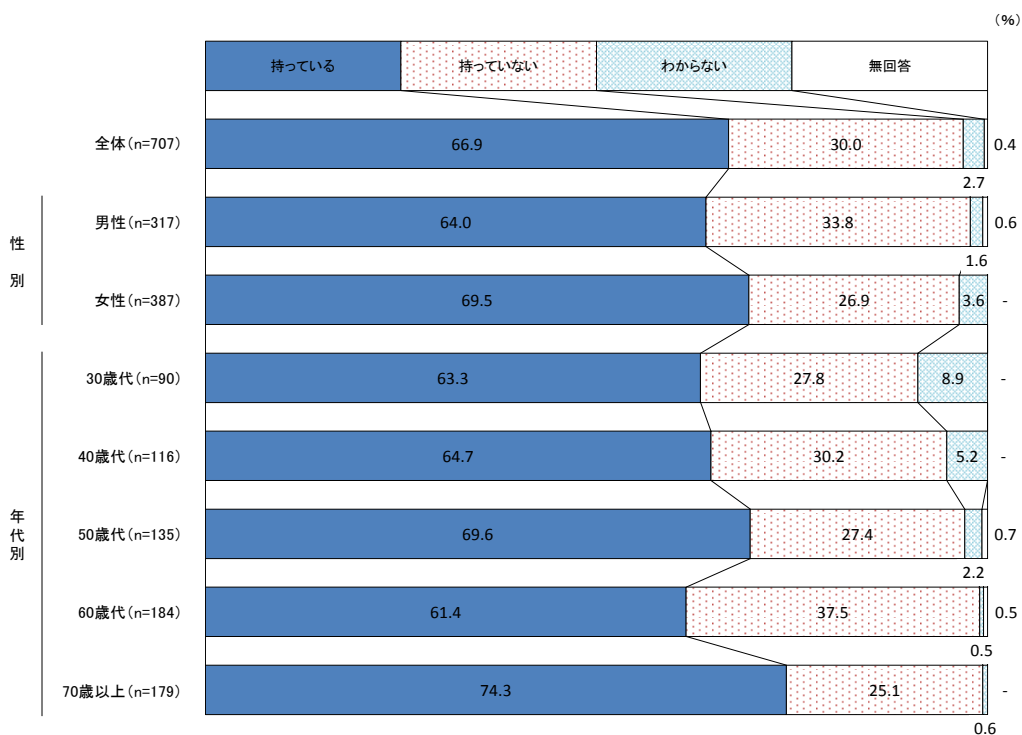
墓地・納骨堂の所有について聞いたところ、「持っている」が66.9%で最も多く、次いで「持っていない」(30.0%)、「わからない」(2.7%)となっている。

性別に「持っている」をみると、女性(69.5%)が男性(64.0%)より高くなっている。

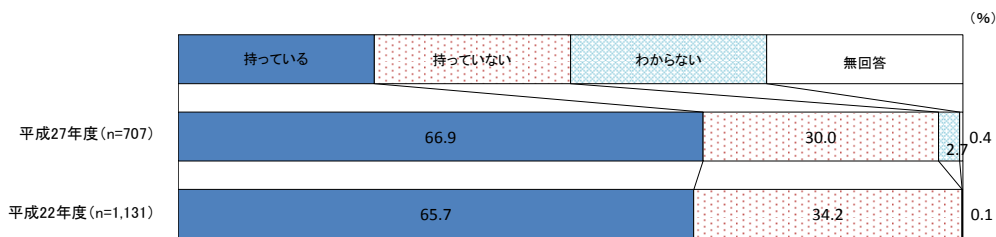
年代別に「持っている」をみると、70歳以上では74.3%となっており、他の年代と比べて高くなっている。

過去の調査と比較してみても、特に差異はみられない。

図表-2-5 墓地・納骨堂の所有【性別、年代別】



図表-2-6 墓地・納骨堂の所有【過去の調査結果との比較】



※平成27年度については、選択肢「わからない」を追加している。

※図表上の「-」については、0.0を表す。

問9-1 墓地・納骨堂の種類

〔問9の墓地・納骨堂の所有者のみに質問〕  
それはどのようなお墓や納骨堂ですか。(〇は1つだけ)

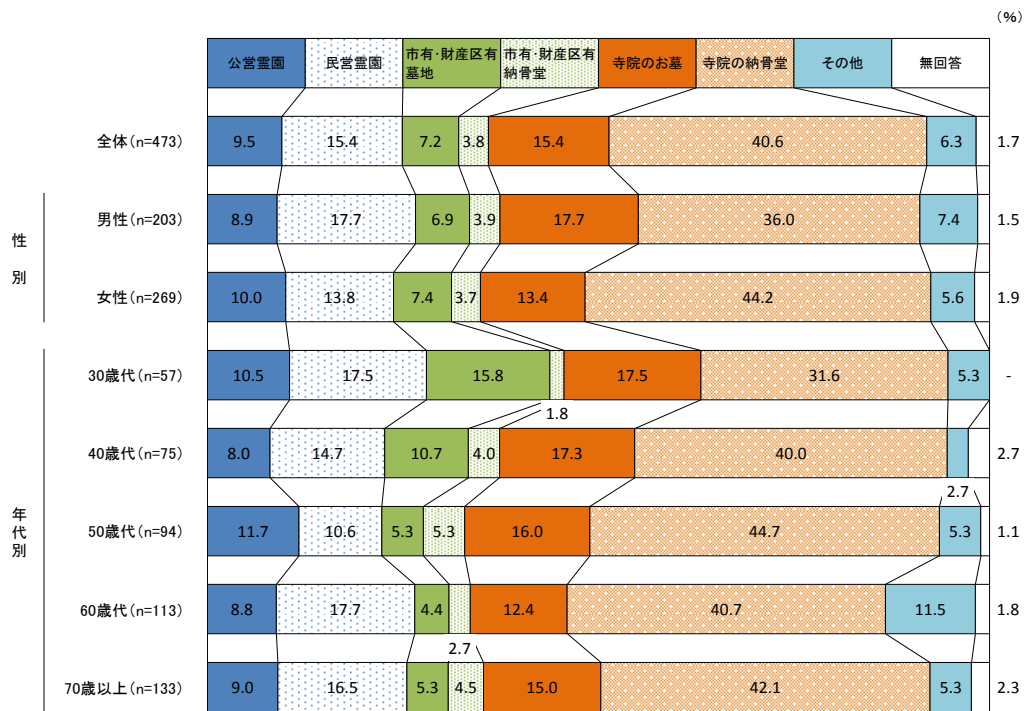
問9で現在墓地・納骨堂を所有していると答えた473人にその種類を聞いたところ、「寺院の納骨堂」が40.6%で最も多く、次いで「民営霊園」「寺院のお墓」(15.4%)となっている。

性別に「寺院の納骨堂」をみると、女性(44.2%)が男性(36.0%)より高くなっている。

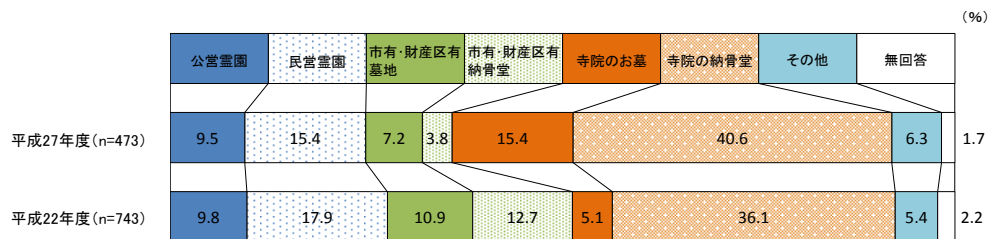
年代別では、特に差異はみられない。

過去の調査結果と比較してみると、「寺院のお墓」は、平成27年度(15.4%)が平成22年度(5.1%)より高くなっている。

図表-2-7 墓地・納骨堂の種類【性別、年代別】



図表-2-8 墓地・納骨堂の種類【過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問9-2 墓地・納骨堂の取得

〔問9の墓地・納骨堂の所有者のみに質問〕  
 そのお墓や納骨堂はどのようにして取得されましたか。(〇は1つだけ)

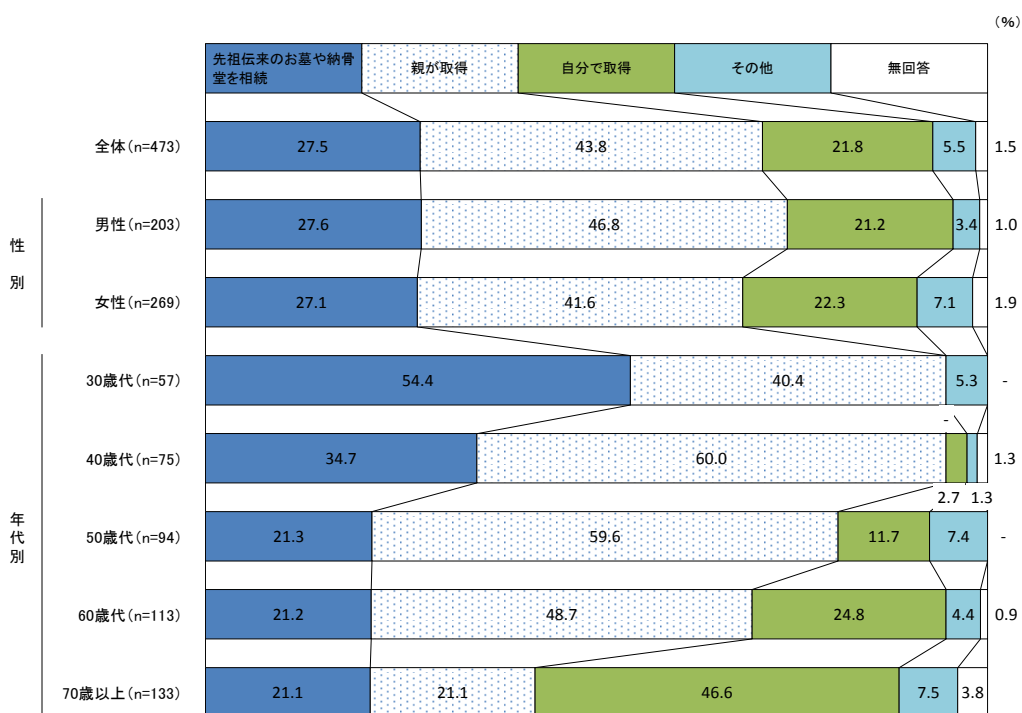
問9で現在墓地・納骨堂を所有していると答えた473人にその取得方法を聞いたところ、「親が取得」が43.8%で最も多く、次いで「先祖伝来のお墓や納骨堂を相続」(27.5%)、「自分で取得」(21.8%)となっている。

性別では、特に差異はみられない。

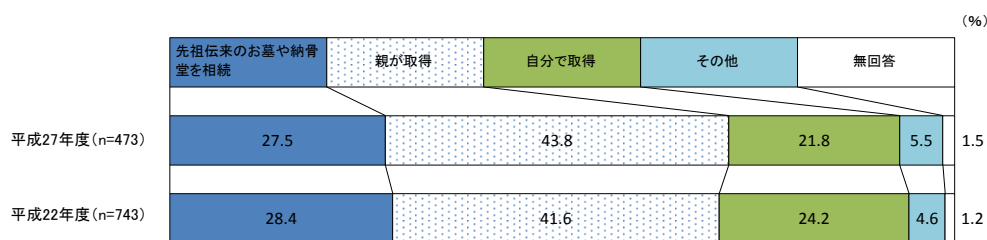
年代別に「自分で取得」をみると、70歳以上で46.6%、「親が取得」をみると40歳代(60.0%)・50歳代(59.6%)、「先祖伝来のお墓や納骨堂を相続」をみると30歳代で54.4%となっており、それぞれ他の年代と比べて高くなっている。

過去の調査結果と比較してみても、特に差異はみられない。

図表-2-9 墓地・納骨堂の取得【性別、年代別】



図表-2-10 墓地・納骨堂の取得【過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0を表す。



問9-3 墓地・納骨堂の場所

〔問9の墓地・納骨堂の所有者のみに質問〕  
 そのお墓や納骨堂はどこにありますか。(〇は1つだけ)

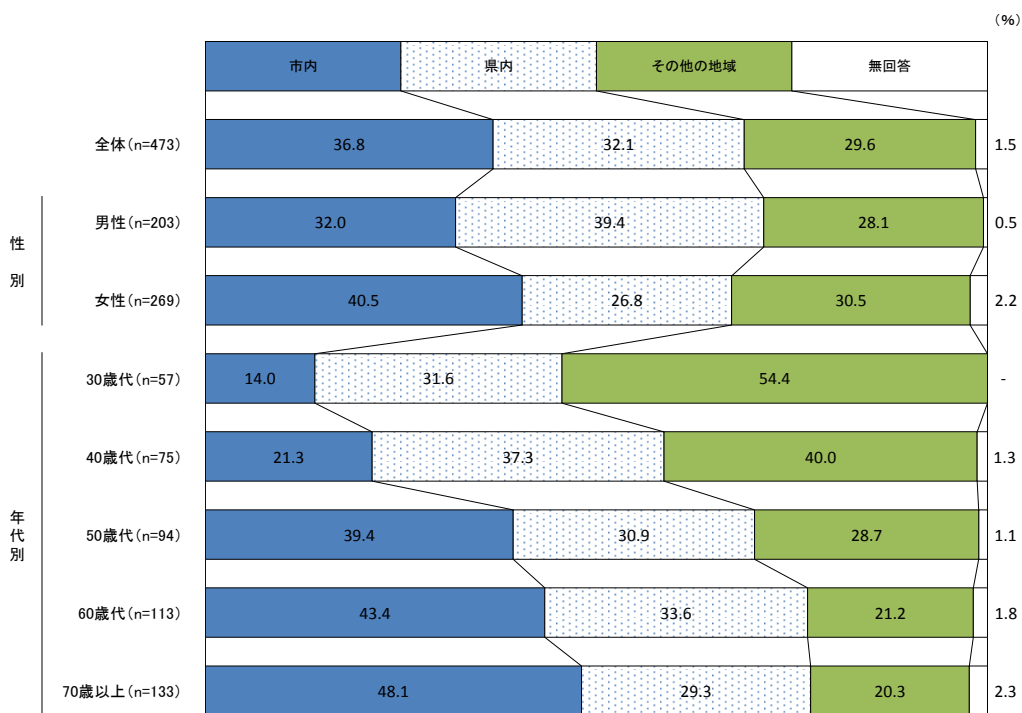
問9で現在墓地・納骨堂を所有していると答えた473人にその所在地を聞いたところ、「市内」が36.8%で最も多く、次いで「県内」(32.1%)、「その他の地域」(29.6%)となっている。

性別に「県内」をみると、男性(39.4%)が女性(26.8%)より高くなっている。

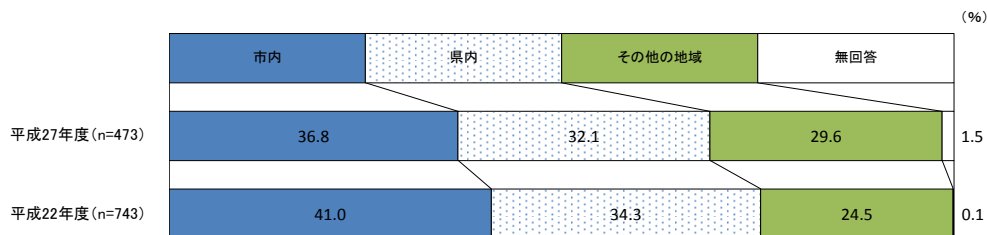
年代別に「その他の地域」をみると、30歳代(54.4%)・40歳代(40.0%)で高くなっており、加齢減少傾向を示している。「市内」をみると、70歳以上では48.1%と高くなっており、加齢増加傾向を示している。

過去の調査と比較してみても、特に差異はみられない。

図表-2-11 墓地・納骨堂の場所【性別、年代別】



図表-2-12 墓地・納骨堂の場所【過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問9-4 墓地・納骨堂へのお参り回数（過去1年間）

〔問9の墓地・納骨堂の所有者のみに質問〕  
 あなたはそのお墓や納骨堂に、過去1年間に何回お参りをしましたか。（〇は1つだけ）

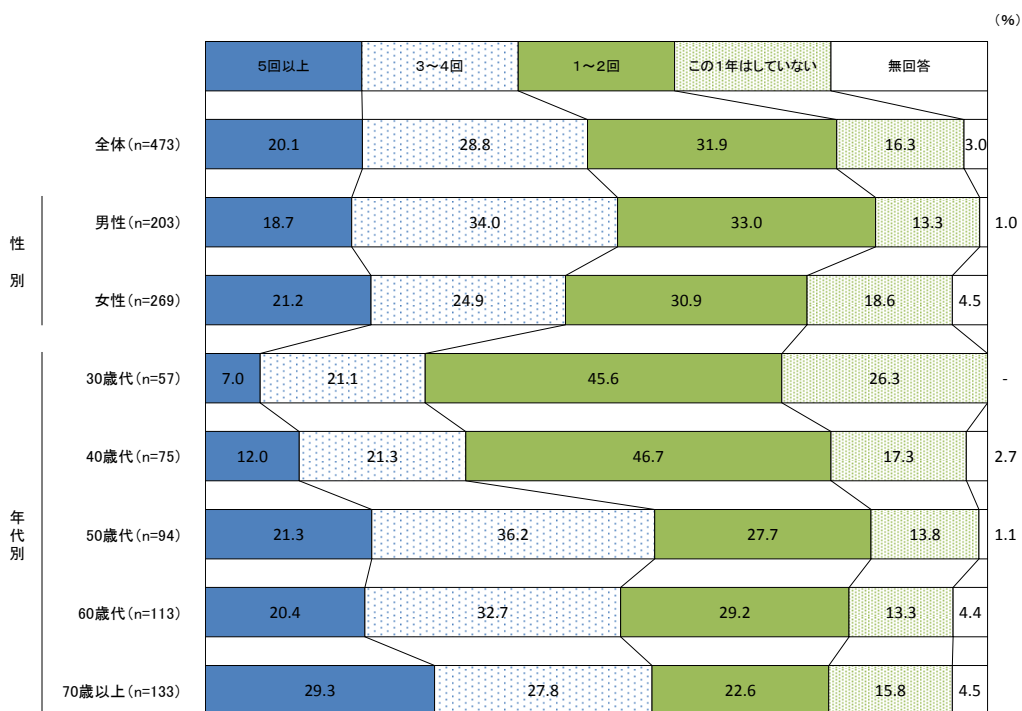
問9で現在墓地・納骨堂を所有していると答えた473人に過去1年間でのお墓参りの頻度を聞いたところ、「1～2回」が31.9%で最も多く、次いで「3～4回」（28.8%）、「5回以上」（20.1%）となっている。

性別では、特に差異はみられない。

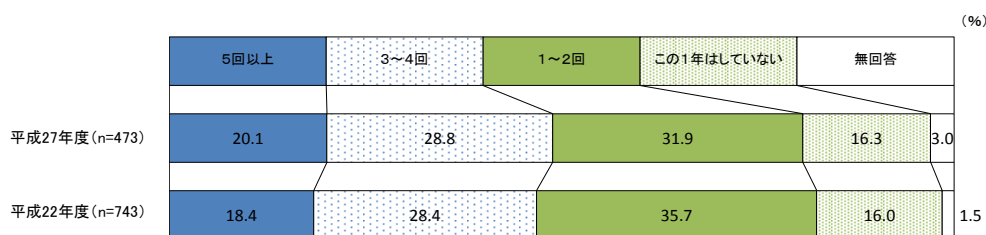
年代別に「この1年はしていない」をみると30歳代では26.3%、「1～2回」をみると30歳代（45.6%）・40歳代（46.7%）で他の年代と比べて高くなっている。また、「5回以上」をみると、70歳以上では29.3%と高くなっており、「この1年はしていない」「1～2回」では加齢減少傾向を示しているのに対し、加齢増加傾向を示している。

過去の調査結果と比較してみても、特に差異はみられない。

図表-2-13 墓地・納骨堂へのお参り回数【性別、年代別】



図表-2-14 墓地・納骨堂へのお参り回数【過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問10 先祖の墓地・納骨堂を守る立場

あなたは先祖のお墓や納骨堂を守る立場にありますか。(○は1つだけ)

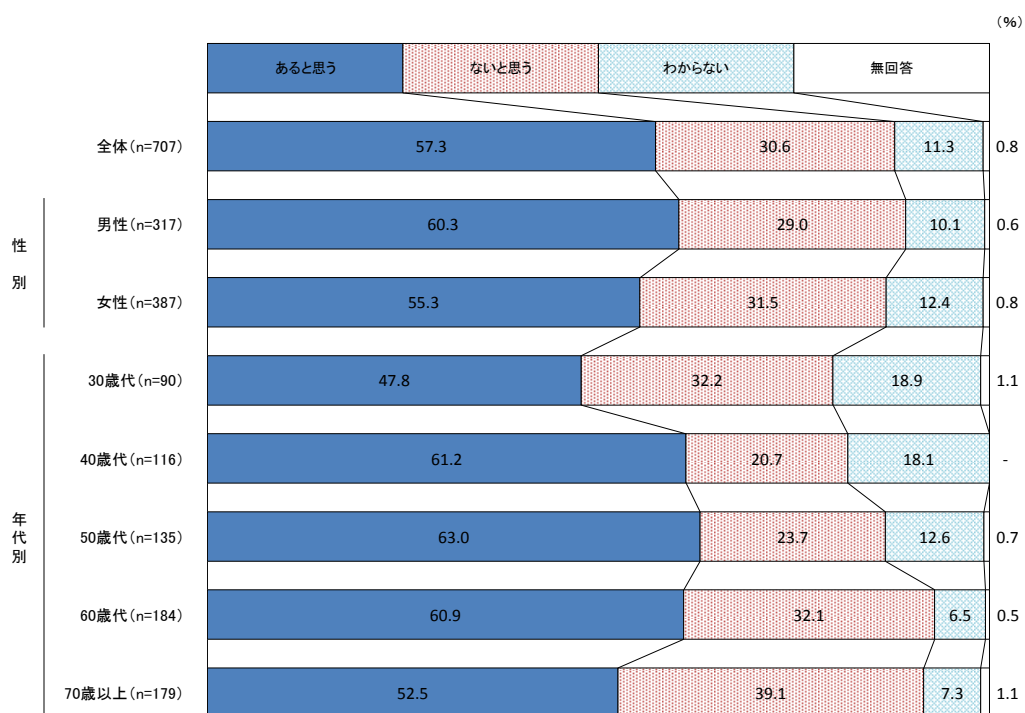
先祖の墓地・納骨堂を守る事への自分の立場について、「あると思う」が57.3%で最も多く、次いで「ないと思う」(30.6%)、「わからない」(11.3%)となっている。

性別では、特に差異はみられない。

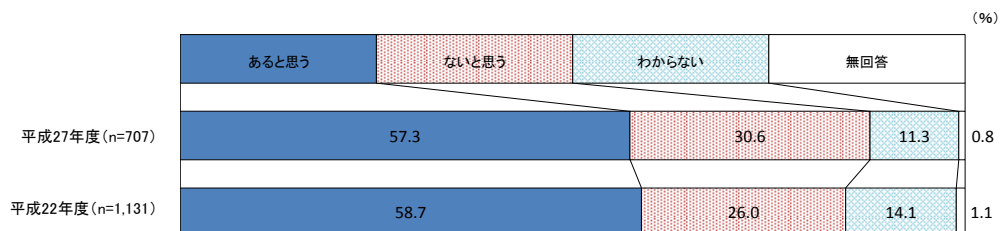
年代別に「わからない」をみると、30歳代(18.9%)・40歳代(18.1%)で高くなっており、加齢減少傾向を示している。

過去の調査結果と比較してみても、特に差異はみられない

図表-2-15 先祖の墓地・納骨堂を守る立場【性別、年代別】



図表-2-16 先祖の墓地・納骨堂を守る立場【過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問 1 1 新しい墓地・納骨堂の取得について

あなたは新たにお墓や納骨堂の取得を考えていますか。あなたの考えに近いものをお選びください。(○は1つだけ)  
 ※問9で「1」とお答えの方もお答えください。

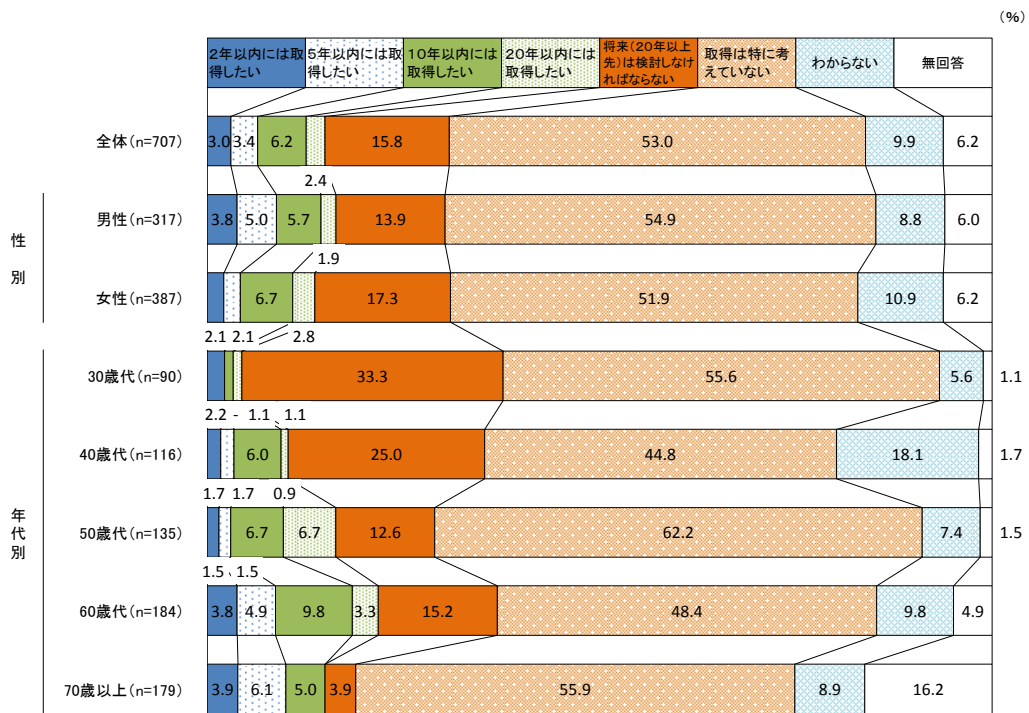
新しい墓地・納骨堂の取得について聞いたところ、『何らかの取得意向がある人』(=「2年以内には取得したい」+「5年以内には取得したい」+「10年以内には取得したい」+「20年以内には取得したい」+「将来(20年以上先)は検討しなければならない」)は30.8%となっている。

性別では、特に差異はみられない。

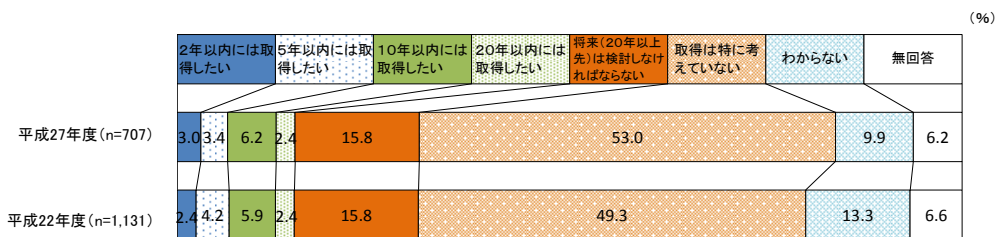
年代別に『何らかの取得意向がある人』をみると、70歳以上では18.9%となっており、他の年代に比べて低くなっている。

過去の調査結果と比較してみても、特に差異はみられない。

図表-2-17 新しい墓地・納骨堂の取得について【性別、年代別】



図表-2-18 新しい墓地・納骨堂の取得について【過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問 1 1-1 新しい墓地・納骨堂の取得理由（回答は2つまで）

〔問 1 1 の墓地・納骨堂の取得意向者のみに質問〕  
 新たにお墓や納骨堂の取得を考えている理由はなんですか（〇は2つまで）

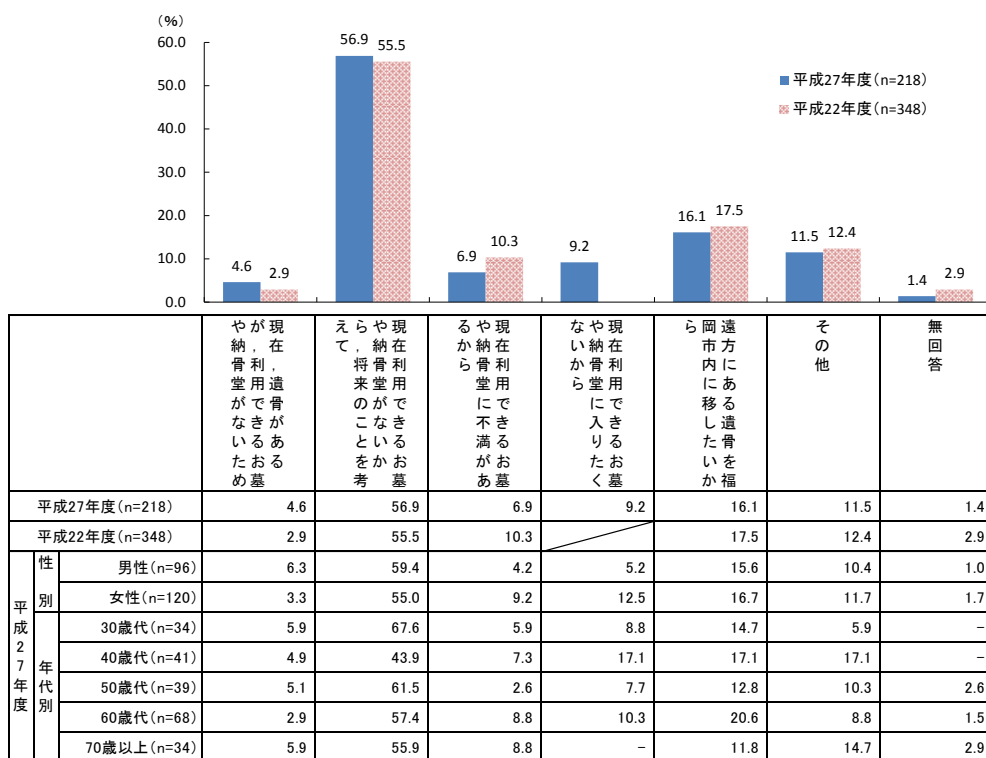
問 1 1 で『何らかの取得意向がある』と答えた 2 1 8 人に墓地・納骨堂の取得を考えている理由を聞いたところ、「現在利用できるお墓や納骨堂がないから、将来のことを考えて」が 5 6 . 9 % で最も多く、次いで「遠方にある遺骨を福岡市内に移したいから」（1 6 . 1 %）、「その他」（1 1 . 5 %）となっている。その他の内容としては、「将来的には兄弟が現在の納骨堂を引き継ぐ事になると思うから。」などが挙げられている。

性別では、特に差異はみられない。

年代別では、特に差異はみられない。

過去の調査結果と比較してみても、特に差異はみられない。

図表－ 2 － 1 9 新しい墓地・納骨堂の取得理由【性別、年代別、過去の調査結果との比較】



※平成 2 7 年度については、選択肢「現在利用できるお墓や納骨堂に入りたくないから」を追加している。

※図表上の「-」については、0.0 を表す。

問 1 1-2 墓地・納骨堂の取得について希望する種類（複数回答）

〔問 1 1 の墓地・納骨堂の取得意向者のみに質問〕  
 仮にお墓や納骨堂を取得する場合、どのようなものを希望しますか。（〇はいくつでも）

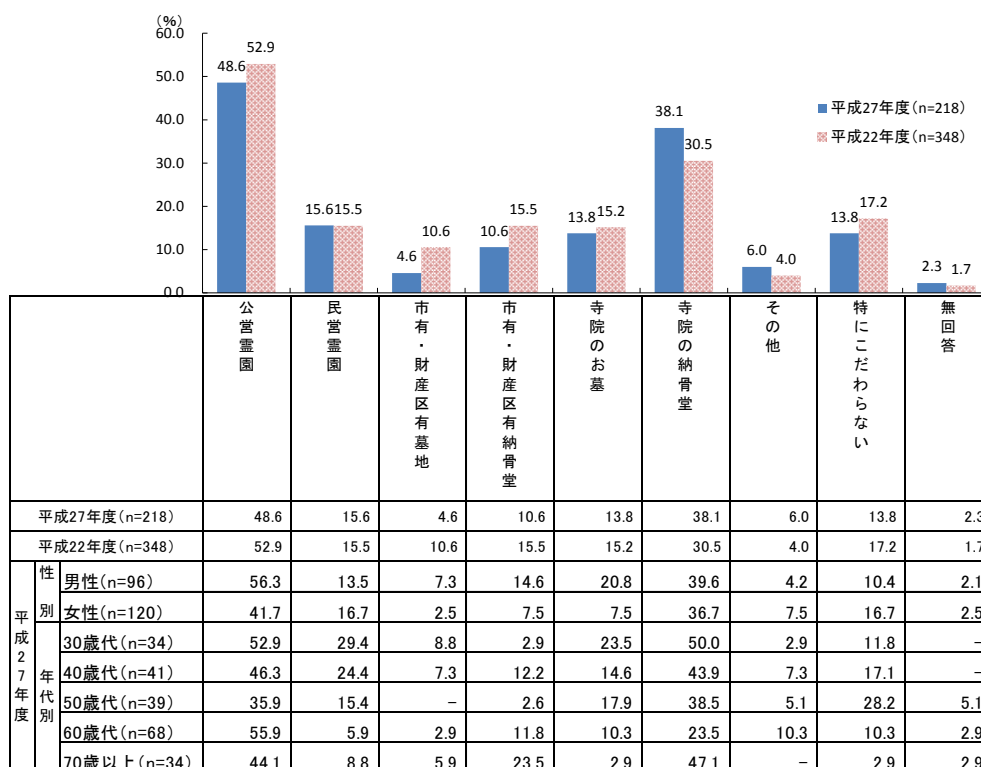
問 1 1 で『何らかの取得意向がある』と答えた 2 1 8 人に希望する墓地・納骨堂の種類を聞いたところ、「公営霊園」が 4 8 . 6 % で最も多く、次いで「寺院の納骨堂」（3 8 . 1 % ）、「民営霊園」（1 5 . 6 % ）となっている。

性別に「公営霊園」をみると、男性（5 6 . 3 % ）が女性（4 1 . 7 % ）より高くなっている。

年代別に「民営霊園」をみると、3 0 歳代では 2 9 . 4 % と高くなっており、加齢減少傾向になっている。また、「特にこだわらない」をみると 5 0 歳代では 2 8 . 2 % となっており、他の年代に比べて高くなっている。

過去の調査結果と比較してみると、「寺院の納骨堂」は、平成 2 7 年度（3 8 . 1 % ）が平成 2 2 年度（3 0 . 5 % ）より高くなっている。

図表－ 2 － 2 0 墓地・納骨堂の取得について希望する種類【性別、年代別、過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0 を表す。

問 1 1-3 墓地・納骨堂の取得について最も希望する種類

〔問 1 1 の墓地・納骨堂の取得意向者のみに質問〕  
 問 1 1-2 で○をつけた中で、もっとも希望するものの番号をお書きください。

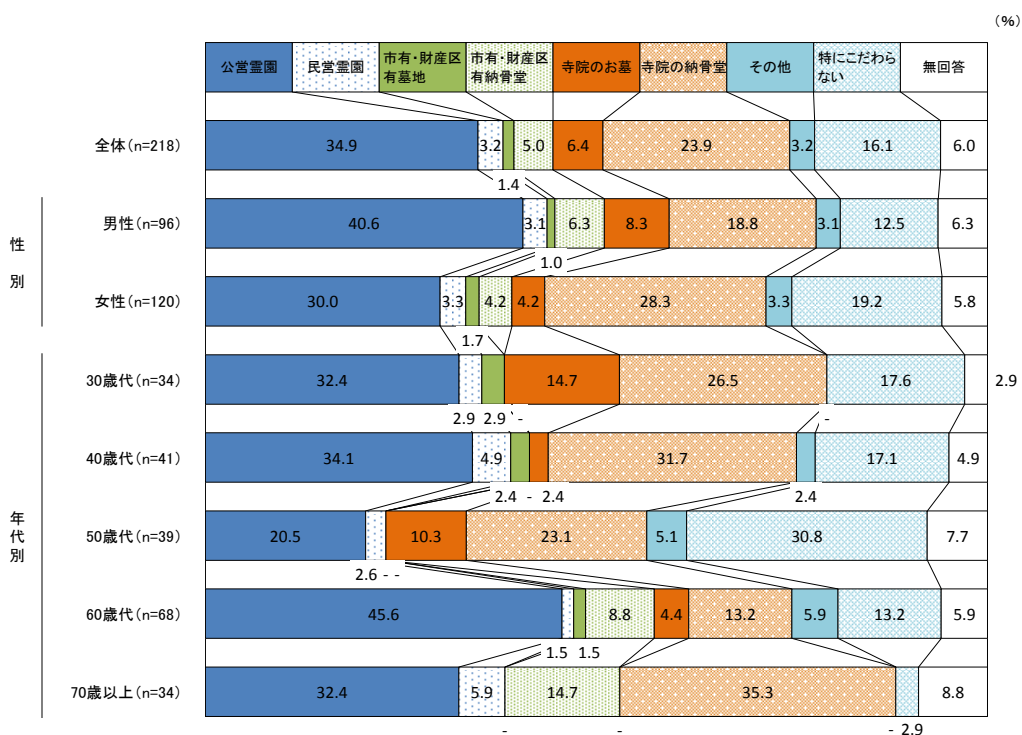
問 1 1-2 で挙げた種類の中から最も強く希望する種類を絞った質問を行ったところ、「公営霊園」が 34.9% で複数回答と同様に最も多く、次いで「寺院の納骨堂」(23.9%)、「特にこだわらない」(16.1%) となっている。

性別に「公営霊園」をみると、男性(40.6%)が女性(30.0%)より高くなっている。一方、「寺院の納骨堂」をみると、女性(28.3%)が男性(18.8%)より高くなっている。

年代別に「特にこだわらない」をみると、50歳代で30.8%となっており、複数回答と同様に他の年代に比べて高くなっている。

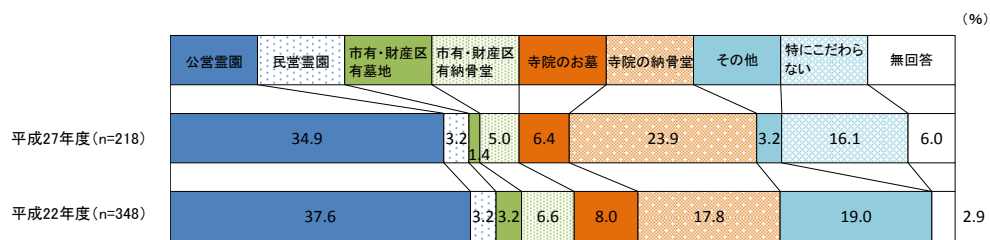
過去の調査結果と比較してみると、「寺院の納骨堂」は、平成27年度(23.9%)が平成22年度(17.8%)より高くなっている。また、「特にこだわらない」も、平成27年度(16.1%)が平成22年度(0.0%)より高くなっている。

図表-2-21 墓地・納骨堂の取得について最も希望する種類【性別、年代別】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

図表－２－２２ 墓地・納骨堂の取得について最も希望する種類【過去の調査結果との比較】





問 1 1-4 墓地・納骨堂の取得について希望する場所

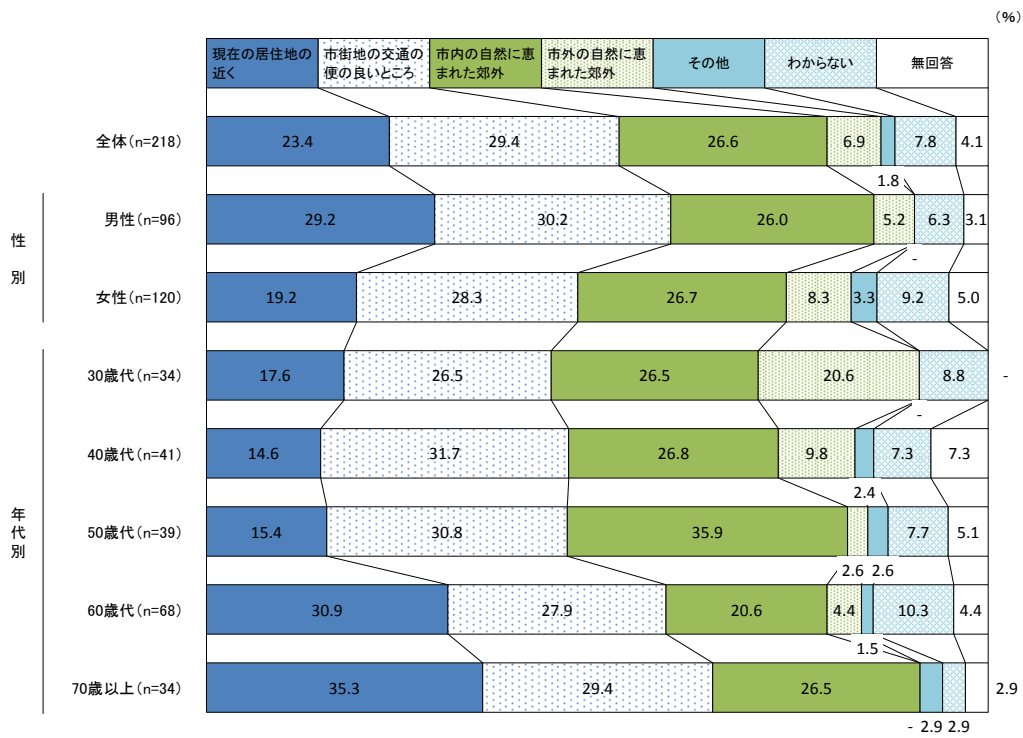
〔問 1 1 の墓地・納骨堂の取得意向者のみに質問〕  
 あなたがお墓や納骨堂を取得する場合、どのような場所が良いと思いますか。(○は1つだけ)

問 1 1 で『何らかの取得意向がある』と答えた 2 1 8 人に希望する墓地・納骨堂の場所を聞いたところ、「市街地の交通の便の良いところ」が 2 9 . 4 % で最も多く、次いで「市内の自然に恵まれた郊外」( 2 6 . 6 % )、「現在の居住地の近く」( 2 3 . 4 % ) となっている。「市外の自然に恵まれた郊外」は 6 . 9 % で少数であり、市民が墓地・納骨堂の立地に関しては、遠方を避ける意向を持っていることがわかる。

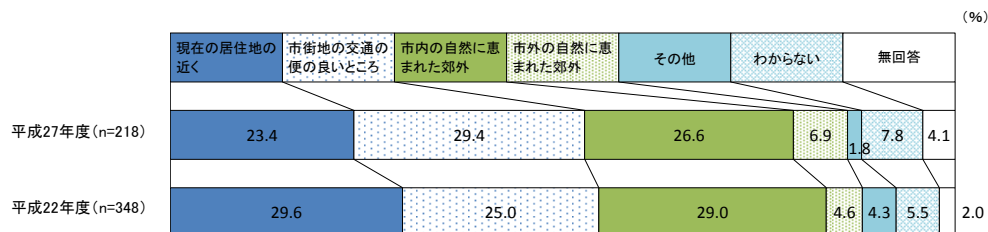
性別に「現在の居住地の近く」をみると、男性 ( 2 9 . 2 % ) が女性 ( 1 9 . 2 % ) より高くなっている。年代別では、特に差異はみられない。

過去の調査結果と比較してみると、「現在の居住地の近く」は、平成 2 2 年度 ( 2 9 . 6 % ) が平成 2 7 年度 ( 2 3 . 4 % ) より高くなっている。

図表 2-2-3 墓地・納骨堂の取得について希望する場所【性別、年代別】



図表 2-2-4 墓地・納骨堂の取得について希望する場所【過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0 を表す。

問 1 1-5 墓地・納骨堂の取得について希望する片道移動時間

〔問 1 1 の墓地・納骨堂の取得意向者のみに質問〕  
 あなたがお墓や納骨堂を取得する場合、ご自宅からの距離は片道の移動時間にしてどのくらいが  
 適当と思いますか。(○は1つだけ)

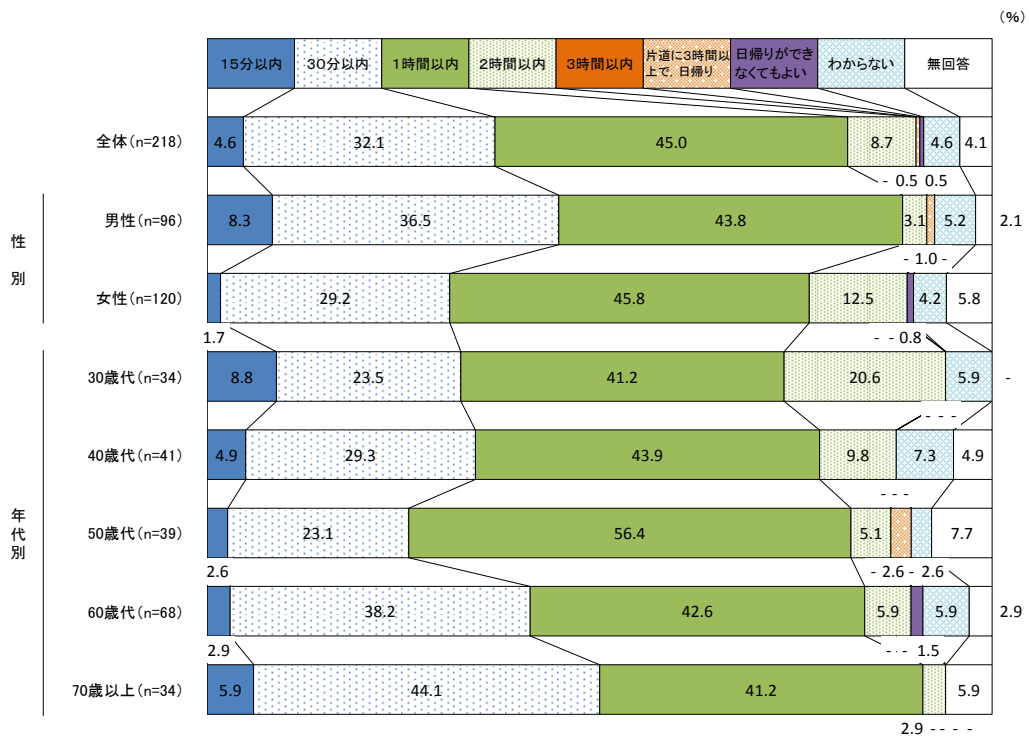
問 1 1 で『何らかの取得意向がある』と答えた 2 1 8 人に自宅からの片道の移動時間の希望を聞いたところ、「1時間以内」が 4 5 . 0 % で最も多く、次いで「30分以内」( 3 2 . 1 % )、「2時間以内」( 8 . 7 % ) となっている。

性別では、特に差異はみられない。

年代別では、特に差異はみられない。

「15分以内」「30分以内」「1時間以内」を合わせた割合は、8割強となっており、大部分の市民が墓地・納骨堂を新たに取得する場合には近距離の立地を求めていることがわかる。

図表-2-25 墓地・納骨堂の取得について希望する片道移動時間【性別、年代別】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問11-6 墓地・納骨堂の取得について重視する点（複数回答）

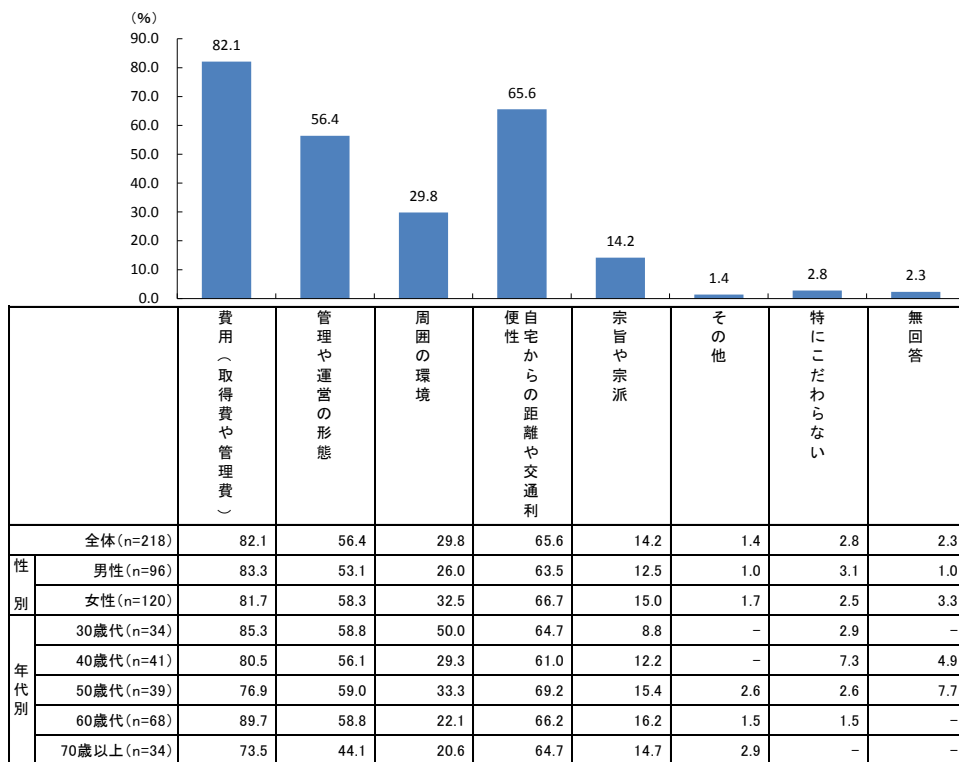
〔問11の墓地・納骨堂の取得意向者のみに質問〕  
 あなたがお墓や納骨堂を取得する場合、重視することは何ですか。（〇はいくつでも）

問11で『何らかの取得意向がある』と答えた218人に新たに墓地・納骨堂を取得する際に重視することを聞いたところ、「費用（取得費や管理費）」が82.1%で最も多く、次いで「自宅からの距離や交通利便性」（65.6%）、「管理や運営の形態」（56.4%）となっている。

性別では、特に差異はみられない。

年代別では、特に差異はみられない。

図表-2-26 墓地・納骨堂の取得について重視する点【性別、年代別】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問 1 1-7 墓地・納骨堂の取得について最も重視する点

〔問 1 1 の墓地・納骨堂の取得意向者のみに質問〕  
 問 1 1-6 で○をつけた中で、もっとも重視するものの番号をお書きください。

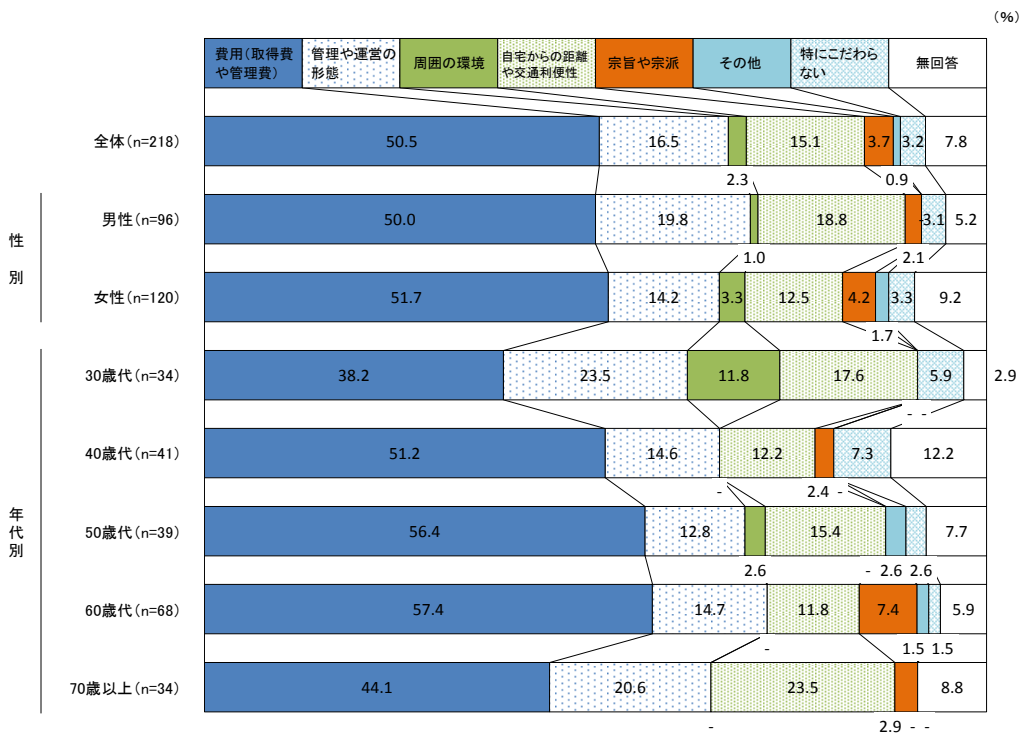
問 1 1-6 で挙げたことの中から最も強く重視することを絞った質問を行ったところ、「費用（取得費や管理費）」が 50.5% で最も多く、次いで「管理や運営の形態」（16.5%）、「自宅からの距離や交通利便性」（15.1%）となっている。

性別では、特に差異はみられない。

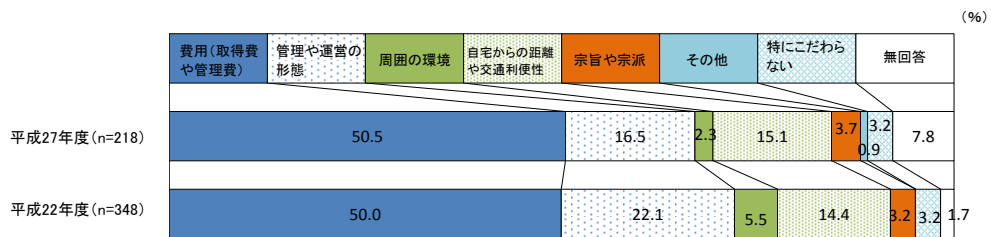
年代別に「費用（取得費や管理費）」をみると、40歳代（51.2%）・50歳代（56.4%）・60歳代（57.4%）で高くなっている。

過去の調査結果と比較してみると、「管理や運営の形態」は、平成22年度（22.1%）が平成27年度（16.5%）より高くなっている。

図表-2-27 墓地・納骨堂の取得について最も重視する点【性別、年代別】



図表-2-28 墓地・納骨堂の取得について最も重視する点【過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問11-8 墓地・納骨堂の取得について希望する形式（複数回答）

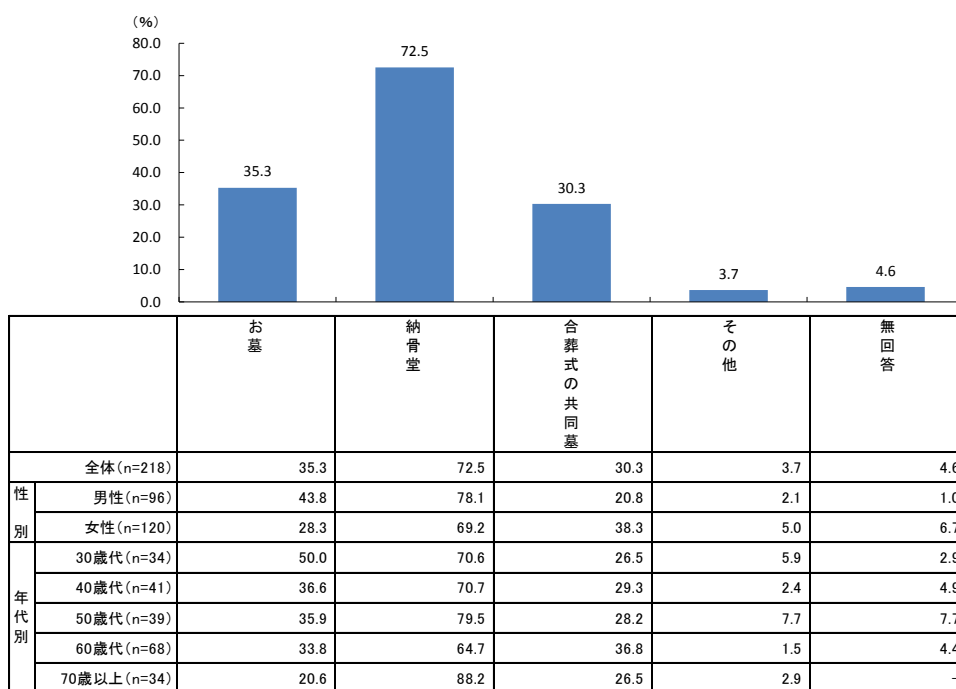
〔問11の墓地・納骨堂の取得意向者のみに質問〕  
 あなたがお墓や納骨堂を取得する場合、どのような形式のものを希望しますか(○はいくつでも)

問11で『何らかの取得意向がある』と答えた218人に新たに墓地・納骨堂を取得する際に希望する形式を聞いたところ、「納骨堂」が72.5%で最も多く、次いで「お墓」(35.3%)、「合葬式の共同墓」(30.3%)となっている。

性別に「お墓」「納骨堂」をみると、男性(43.8%・78.1%)が女性(28.3%・69.2%)より高くなっている。一方、「合葬式の共同墓」をみると、女性(38.3%)が男性(20.8%)より高くなっている。

年代別にみると、「お墓」は加齢減少傾向にあり、「納骨堂」「合葬式の共同墓」は概ね加齢増加傾向となっている。

図表-2-29 墓地・納骨堂の取得について希望する形式【性別、年代別】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問11-9 墓地・納骨堂の取得について最も希望する形式

〔問11の墓地・納骨堂の取得意向者のみに質問〕  
 問11-8で○をつけた中で、もっとも希望するものの番号をお書きください。

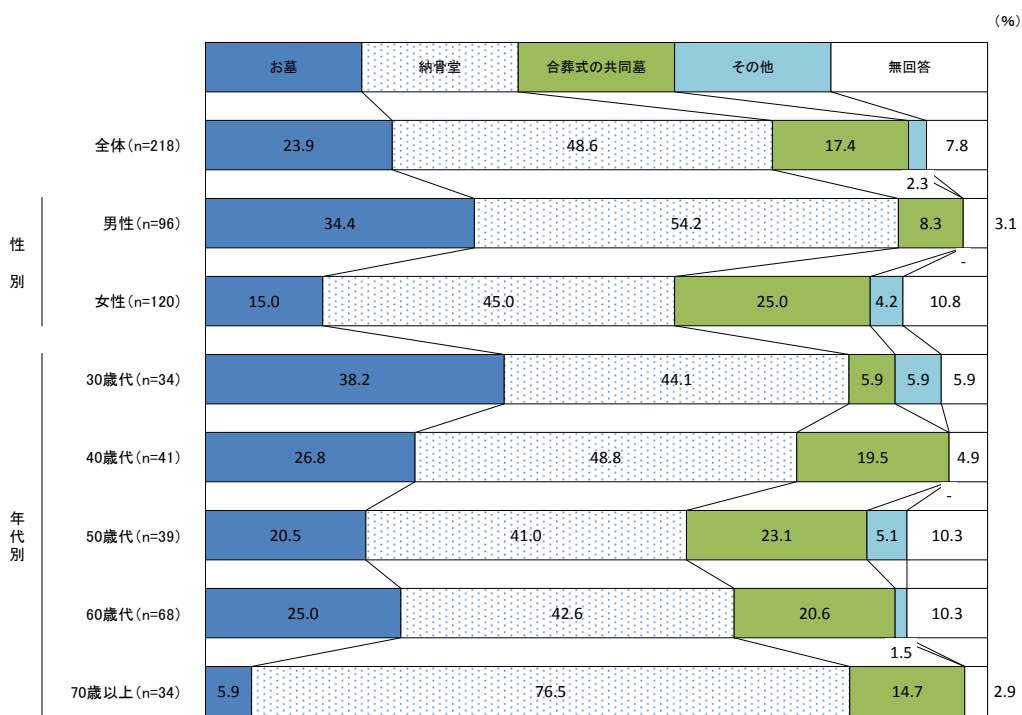
問11-8で挙げた形式の中から最も強く希望する形式を絞った質問を行ったところ、「納骨堂」が48.6%で最も多く、次いで「お墓」(23.9%)、「合葬式の共同墓」(17.4%)となっている。

性別に「お墓」「納骨堂」をみると、複数回答と同様に男性(34.4%・54.2%)が女性(15.0%・45.0%)より高くなっており、特に「お墓」では19.4ポイント高くなっている。

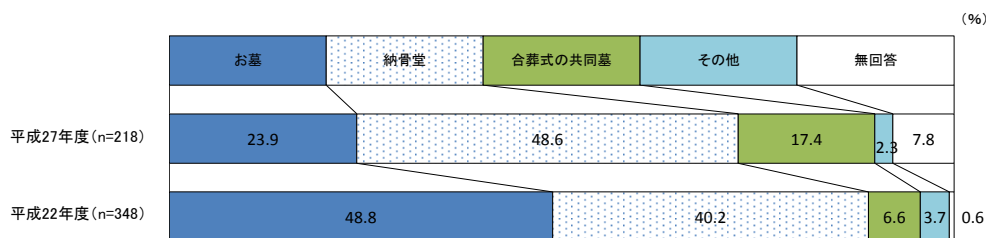
年代別に「お墓」をみると、複数回答と同様に加齢減少傾向となっている。

過去の調査結果と比較してみると、「お墓」は、平成22年度(48.8%)が平成27年度(23.9%)より高くなっている。また、「合葬式の共同墓」「納骨堂」は、平成27年度(17.4%、48.6%)が平成22年度(6.6%、40.2%)より高くなっている。

図表-2-30 墓地・納骨堂の取得について最も希望する形式【性別、年代別】



図表-2-31 墓地・納骨堂の取得について最も希望する形式【過去の調査結果との比較】



※平成22年度については、選択肢「日本の伝統的なお墓」と「芝生型のお墓」を統合して「お墓」としている。

※図表上の「-」については、0.0を表す。

問 1 2 合葬式の共同墓の認知度

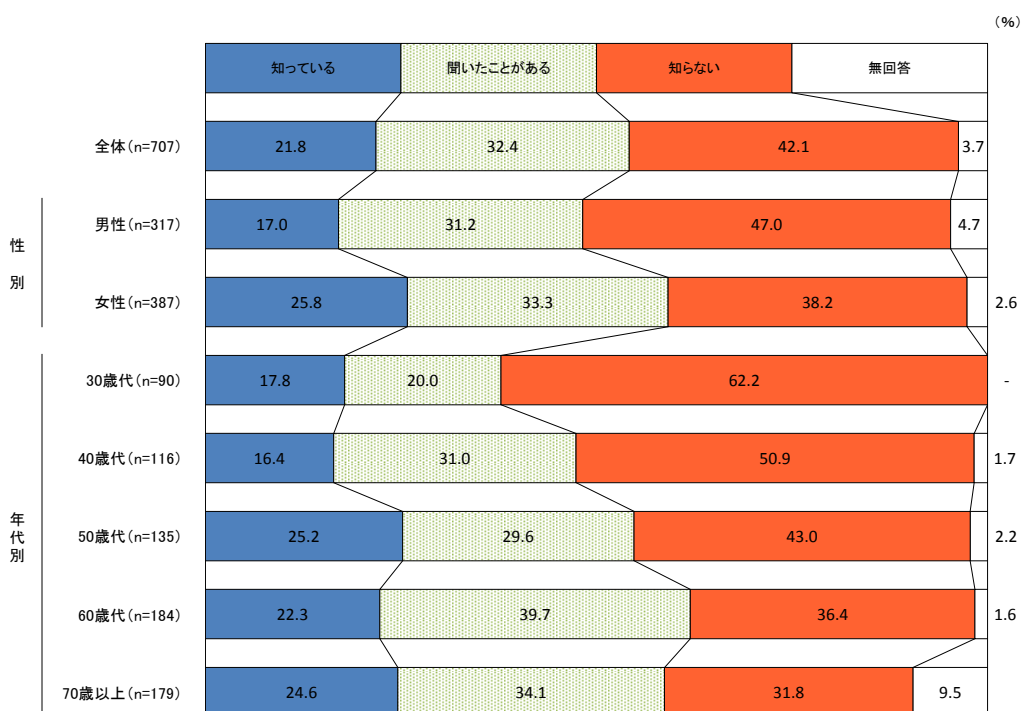
「合葬式の共同墓」を知っていますか。(○は1つだけ)

合葬式の共同墓の認知度について聞いたところ、「知らない」が42.1%で最も多く、次いで「聞いたことがある」(32.4%)、「知っている」(21.8%)となっている。また、「知っている」と「聞いたことがある」を合わせた『認知率』は54.2%となっている。

性別に『認知率』をみると、女性(59.1%)が男性(48.2%)より高くなっている。

年代別に『認知率』をみると、60歳代では62.0%と高くなっており、概ね加齢増加傾向となっている。

図表-2-32 合葬式の共同墓の認知度【性別、年代別】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問 1 3 合葬式の共同墓について

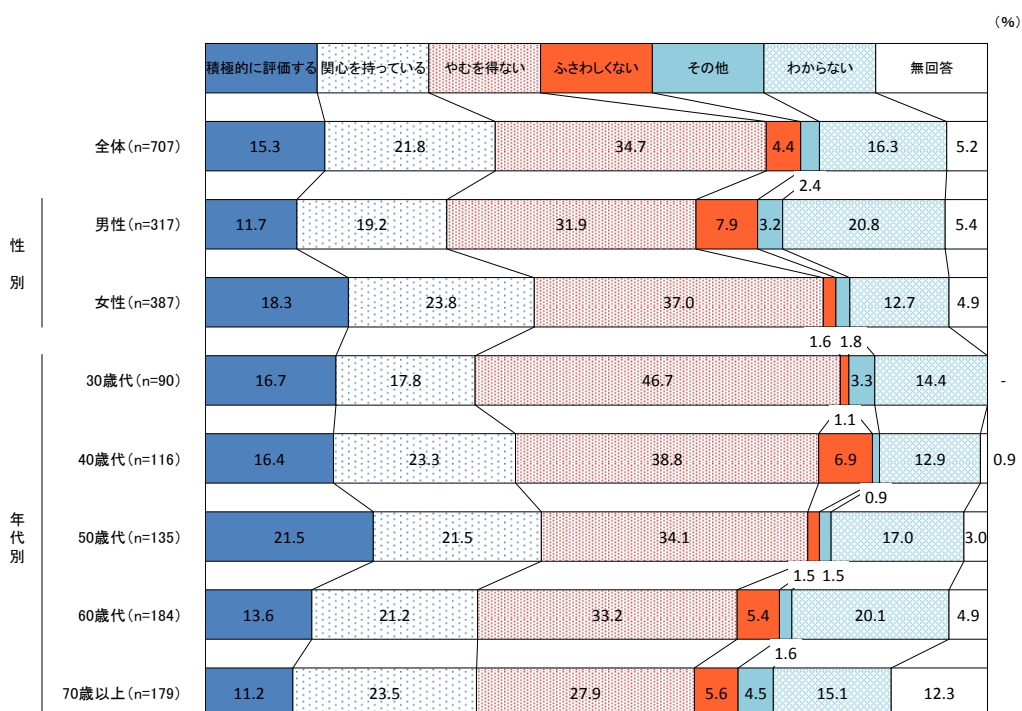
お墓を継いでくれる人がいないために「合葬式の共同墓」が考案されています。あなたはこのような「合葬式の共同墓」についてどのように考えますか。(〇は1つだけ)

合葬式の共同墓について、「やむを得ない」が34.7%で最も多く、次いで「関心を持っている」(21.8%)、「わからない」(16.3%)となっている。

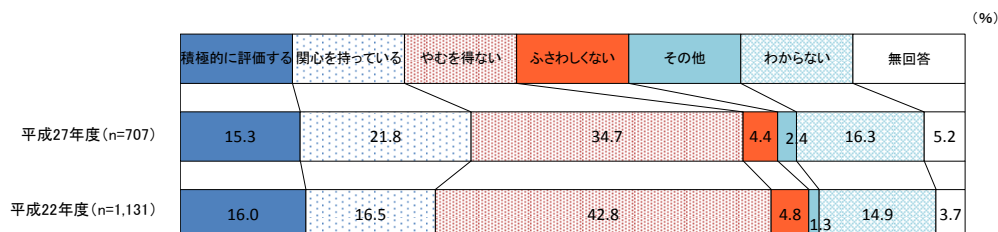
性別に「ふさわしくない」をみると、男性(7.9%)が女性(1.6%)より高くなっている。

過去の調査結果と比較してみると、「関心を持っている」は、平成27年度(21.8%)が平成22年度(16.5%)より高くなっている。

図表-2-33 合葬式の共同墓について【性別、年代別】



図表-2-34 合葬式の共同墓について【過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0を表す。



問 1 3-1 合葬式の共同墓の利用希望

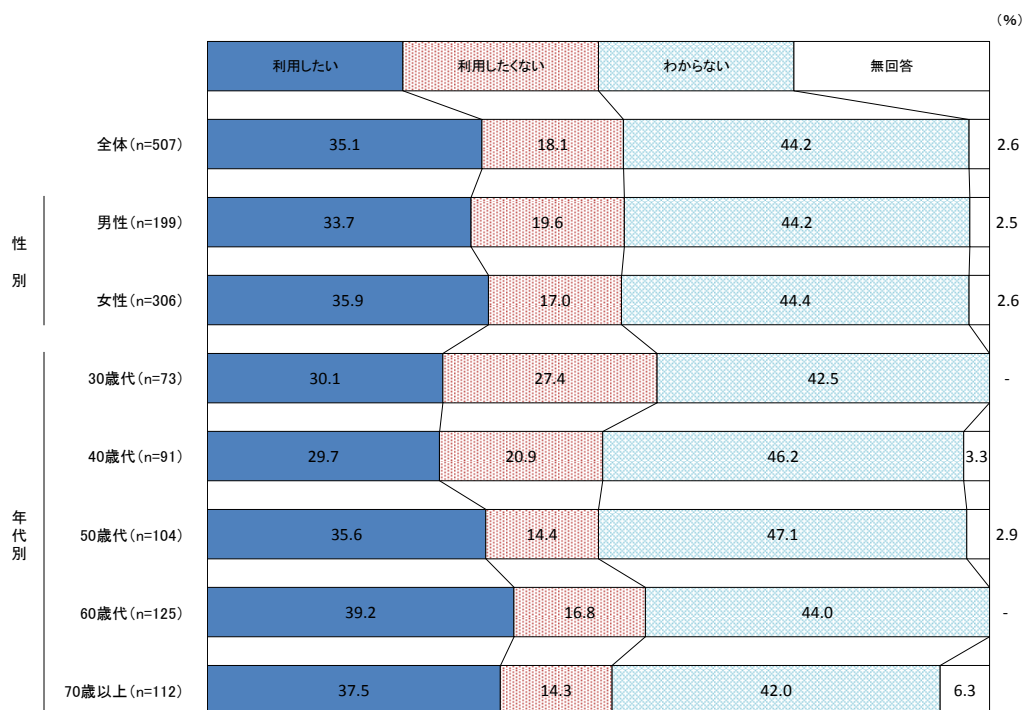
〔問 1 3 の合葬式の共同墓に肯定者のみに質問〕  
 福岡市が市営の「合葬式の共同墓」を設置した場合、あなたは利用したいですか。(○は1つだけ)

問 1 3 で「積極的に評価する」「関心を持っている」「やむを得ない」と答えた 5 0 7 人に合葬式の共同墓の利用希望を聞いたところ、「わからない」が 4 4 . 2 % で最も多く、次いで「利用したい」( 3 5 . 1 % )、「利用したくない」( 1 8 . 1 % ) となっている。

性別では、特に差異はみられない。

年代別に「利用したくない」をみると、30歳代で 2 7 . 4 % と高くなっており、概ね加齢減少傾向となっている。

図表－ 2 － 3 5 合葬式の共同墓の利用希望【性別、年代別】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問13-2 合葬式の共同墓の利用を希望する理由（複数回答）

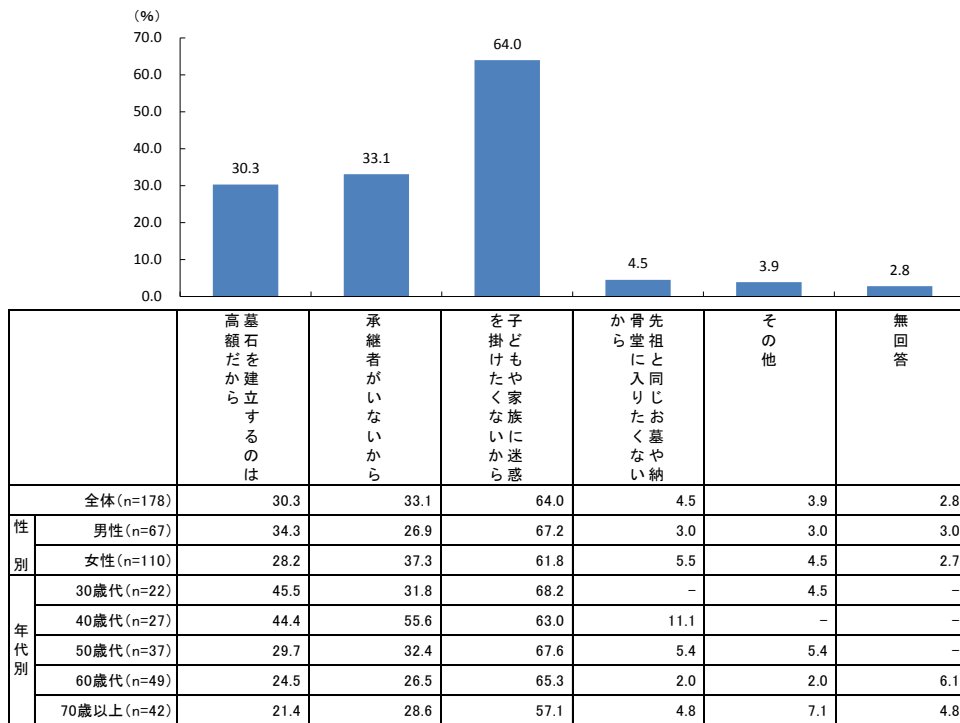
〔問13-1の合葬式の共同墓の利用希望者のみに質問〕  
 「合葬式の共同墓」を利用したい理由は何ですか。（〇はいくつでも）

問13-1で「利用したい」と答えた178人に合葬式の共同墓を利用したい理由を聞いたところ、「子どもや家族に迷惑を掛けたくないから」が64.0%で最も多く、次いで「承継者がいないから」（33.1%）、「墓石を建立するのは高額だから」（30.3%）となっている。

性別に「承継者がいないから」をみると、女性（37.3%）が男性（26.9%）より高くなっている。

年代別では、特に差異はみられない。

図表-2-36 合葬式の共同墓の利用を希望する理由【性別、年代別】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問 1 3-3 合葬式の共同墓の利用条件（複数回答）

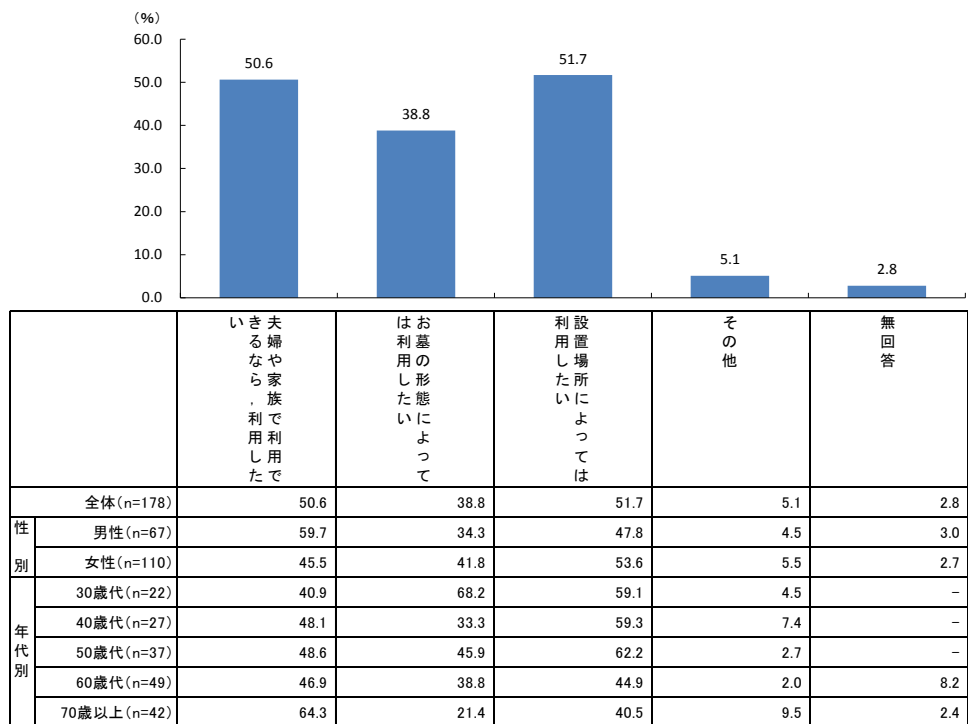
〔問 1 3-1 の合葬式の共同墓の利用希望者のみに質問〕  
 「合葬式の共同墓」を利用する際の条件は何ですか。（○はいくつでも）

問 1 3-1 で「利用したい」と答えた 1 7 8 人に合葬式の共同墓の利用条件を聞いたところ、「設置場所によっては利用したい」が 5 1. 7 % で最も多く、次いで「夫婦や家族で利用できるなら、利用したい」（5 0. 6 %）、「お墓の形態によっては利用したい」（3 8. 8 %）となっている。

性別では、特に差異はみられない。

年代別では、特に差異はみられない。

図表－ 2 － 3 7 合葬式の共同墓の利用条件【性別、年代別】



※図表上の「-」については、0.0 を表す。

問13-3-1 合葬式の共同墓の利用の希望形態（複数回答）

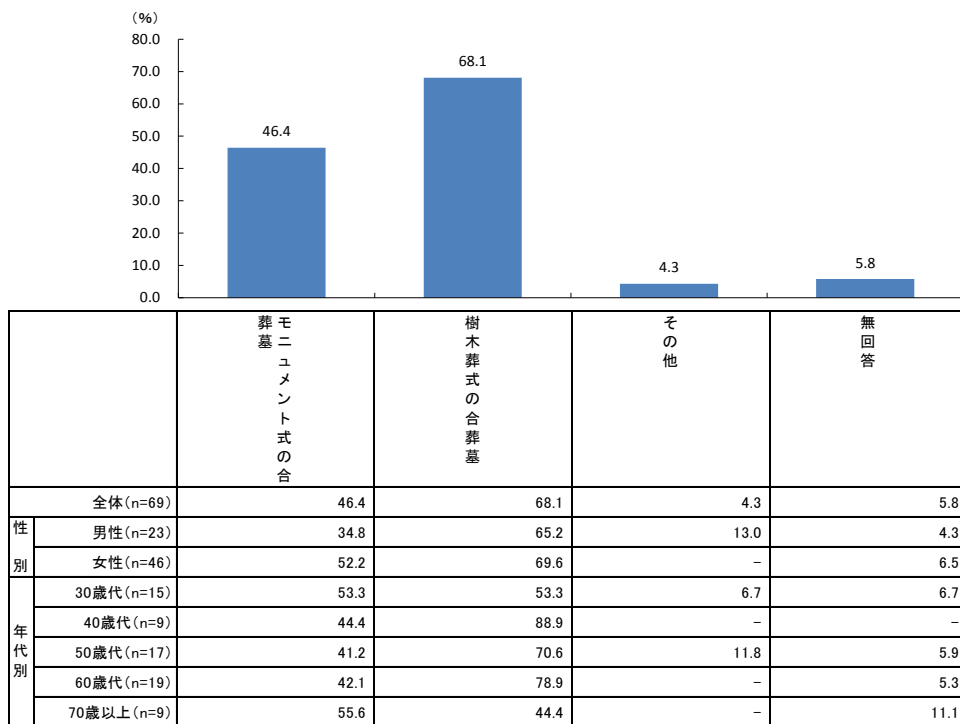
〔問13-3の合葬式の共同墓の形態によつての利用希望者のみに質問〕  
 問13-3で「2」とお答えの方のみにおたずねします。（それ以外の方は、問13-3-2へお進みください。）  
 「合葬式の共同墓」をどのような形態で利用したいですか。（〇はいくつでも）

問13-3で「お墓の形態によつては利用したい」と答えた69人に合葬式の共同墓の利用したい形態について聞いたところ、「樹木葬式の合葬墓」が68.1%で最も高く、次いで「モニュメント式の合葬墓」（46.4%）となっている。

性別では、特に差異はみられない。

年代別では、特に差異はみられない。

図表-2-38 合葬式の共同墓の利用の希望形態【性別、年代別】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問 1 3-3-2 合葬式の共同墓の利用希望場所（複数回答）

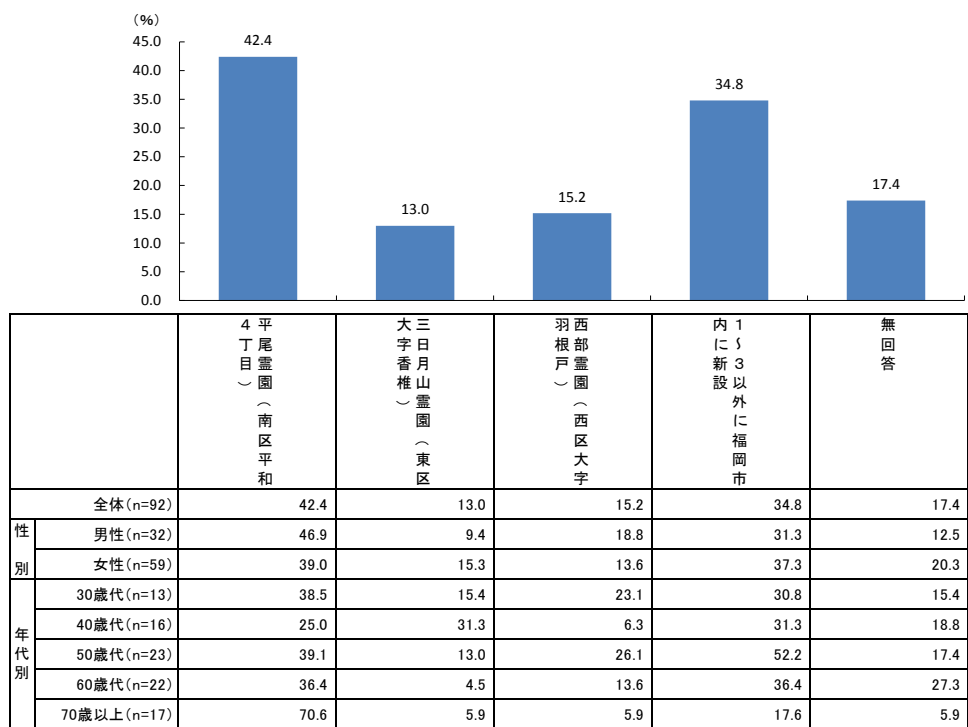
〔問 1 3-3 の合葬式の共同墓の場所によっては利用希望者のみに質問〕  
 問 1 3-3 で「3」とお答えの方のみにおたずねします。（それ以外の方は、問 1 4 へお進みください。）  
 「合葬式の共同墓」をどこで利用したいですか。（〇はいくつでも）

問 1 3-3 で「設置場所によっては利用したい」と答えた 9 2 人に合葬式の共同墓を利用したい場所について聞いたところ、「平尾霊園（南区平和 4 丁目）」が 4 2. 4 % で最も多く、次いで「1～3 以外に福岡市内に新設」（3 4. 8 %）、「西部霊園（西区大字羽根戸）」（1 5. 2 %）となっている。

性別では、特に差異はみられない。

年代別では、特に差異はみられない。

図表－ 2－ 3 9 合葬式の共同墓の利用希望場所【性別、年代別】



問13-4 合葬式の共同墓を利用したくない理由（複数回答）

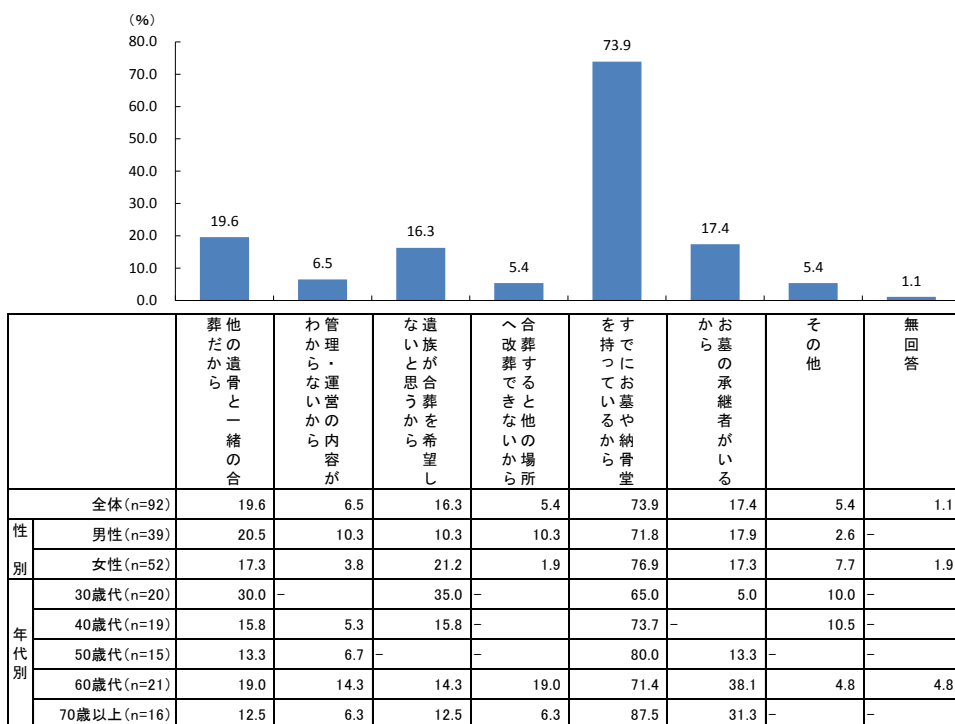
〔問13-1の合葬式の共同墓を利用したくない人だけに質問〕  
 「合葬式の共同墓」を「利用したくない」という理由は何ですか。（〇はいくつでも）

問13-1で「利用したくない」と答えた92人に合葬式の共同墓を利用したくない理由を聞いたところ、「すでにお墓や納骨堂を持っているから」が73.9%で最も多く、次いで「他の遺骨と一緒に合葬だから」（19.6%）、「遺族が合葬を希望しないと思うから」（16.3%）となっている。

性別では、特に差異はみられない。

年代別では、特に差異はみられない。

図表-2-40 合葬式の共同墓を利用したくない理由【性別、年代別】



	葬他 だの 遺骨 ら 一 緒の 合	管 か 理 ら な い か ら 内 容 が	な 遺 族 が 合 葬 を 希 望 し	へ 合 葬 す る と 他 の 場 所	を す 持 っ て い る か ら	か お 墓 の 承 継 者 が い る	そ の 他	無 回 答
全体 (n=92)	19.6	6.5	16.3	5.4	73.9	17.4	5.4	1.1
性別								
男性 (n=39)	20.5	10.3	10.3	10.3	71.8	17.9	2.6	-
女性 (n=52)	17.3	3.8	21.2	1.9	76.9	17.3	7.7	1.9
年代別								
30歳代 (n=20)	30.0	-	35.0	-	65.0	5.0	10.0	-
40歳代 (n=19)	15.8	5.3	15.8	-	73.7	-	10.5	-
50歳代 (n=15)	13.3	6.7	-	-	80.0	13.3	-	-
60歳代 (n=21)	19.0	14.3	14.3	19.0	71.4	38.1	4.8	4.8
70歳以上 (n=16)	12.5	6.3	12.5	6.3	87.5	31.3	-	-

※図表上の「-」については、0.0を表す。

問14 散骨について

海や山へ遺骨をまく、いわゆる散骨が話題になっています。あなたは散骨についてどのように考えますか。(〇は1つだけ)

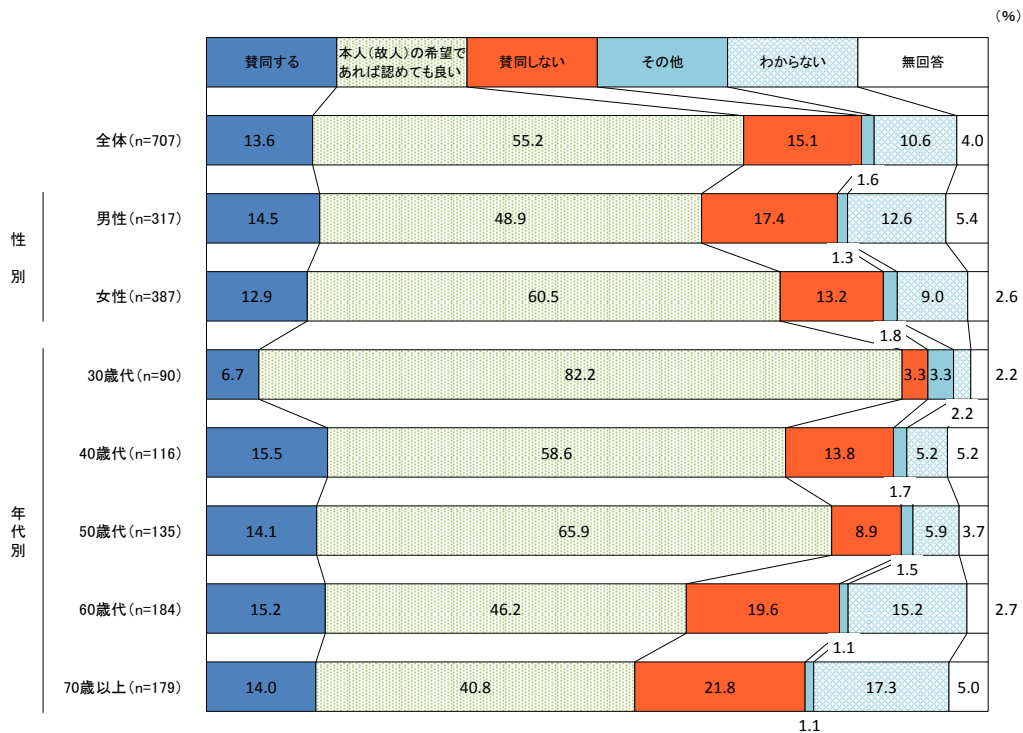
散骨について聞いたところ、「本人（故人）の希望であれば認めても良い」が55.2%で最も多く、次いで「賛同しない」（15.1%）、「賛同する」（13.6%）となっている。また、「賛同する」と「本人（故人）の希望であれば認めても良い」を合わせた『散骨に対する許容度』は68.8%となっている。

性別に『散骨に対する許容度』をみると、女性（73.4%）が男性（63.4%）より高くなっている。

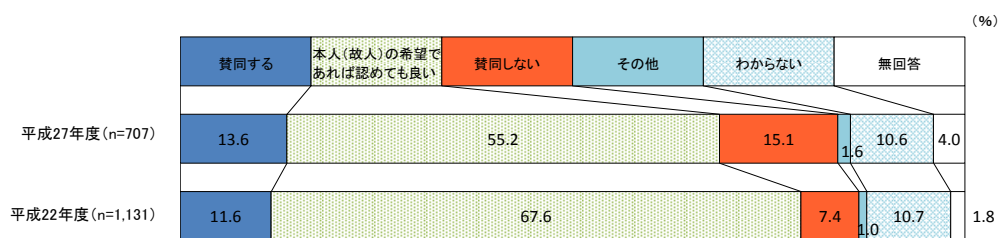
年代別に『散骨に対する許容度』をみると、30歳代で88.9%と高くなっており、概ね加齢減少傾向となっている。また、「わからない」をみると、60歳代（15.2%）・70歳以上（17.3%）で高くなっている。

過去の調査結果と比較してみると、『散骨に対する許容度』は、平成22年度（79.2%）が平成27年度（68.8%）より高くなっている。また、「賛同しない」は、平成27年度（15.1%）が平成22年度（7.4%）より高くなっている。

図表-2-41 散骨について【性別、年代別】



図表－２－４２ 散骨について【過去の調査結果との比較】



※平成22年度については、選択肢「賛同する」は「認めるべきである」、「賛同しない」は「認めるべきではない」となっている。



問14-1 自身の散骨の希望

〔問14の散骨について肯定者のみに質問〕  
 あなたご自身が散骨によって葬られることを希望しますか。(○は1つだけ)

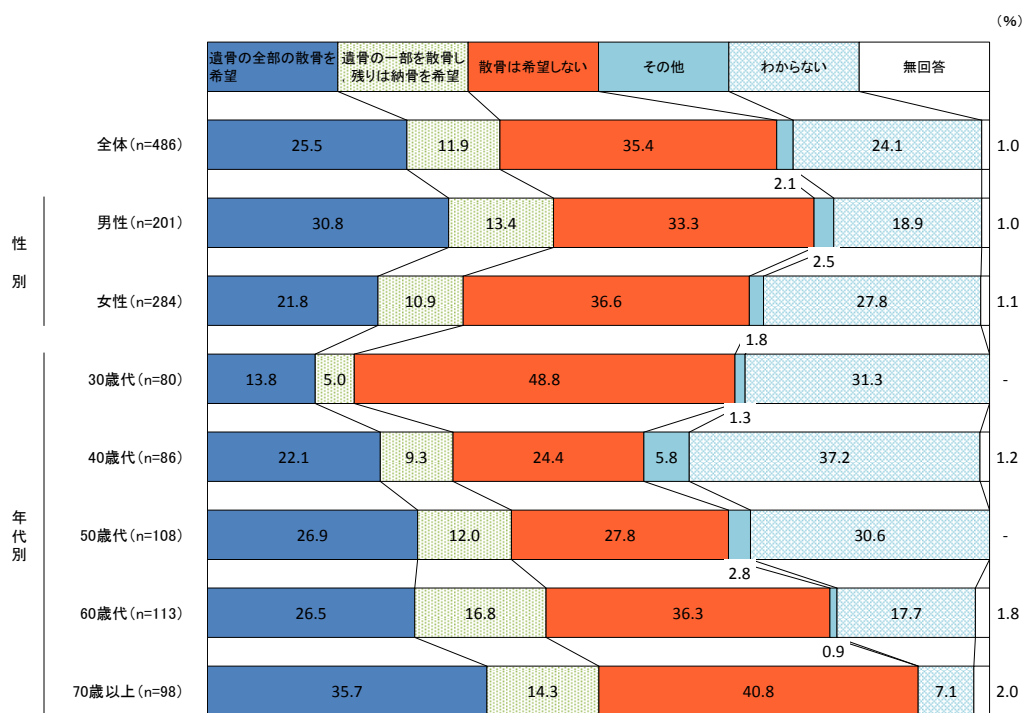
問14で「賛同する」「本人(故人)の希望であれば認めても良い」と答えた486人に自身の散骨の希望を聞いたところ、「散骨は希望しない」が35.4%で最も多く、次いで「遺骨の全部の散骨を希望」(25.5%)、「わからない」(24.1%)となっている。

性別では、特に差異はみられない。

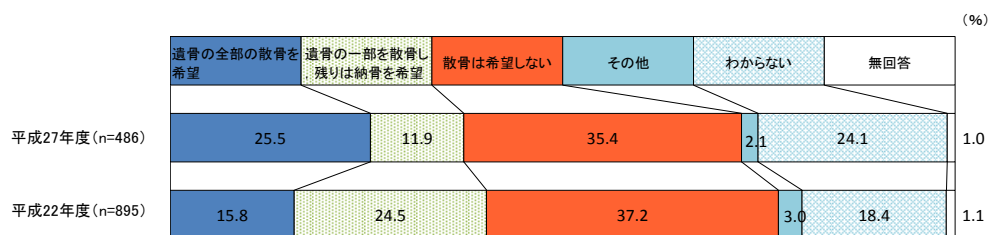
年代別に「散骨は希望しない」をみると、30歳代では48.8%、「遺骨の全部の散骨を希望」をみると、70歳以上では35.7%となっており、他の年代に比べて高くなっている。

過去の調査結果と比較してみると、「遺骨の全部の散骨を希望」は、平成27年度(25.5%)が平成22年度(15.8%)より高くなっている。一方、「遺骨の一部を散骨し、残りは納骨を希望」は、平成22年度(24.5%)が平成27年度(11.9%)より高くなっている。

図表-2-43 自身の散骨の希望【性別、年代別】



図表-2-44 自身の散骨の希望【過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問14-2 散骨の希望場所

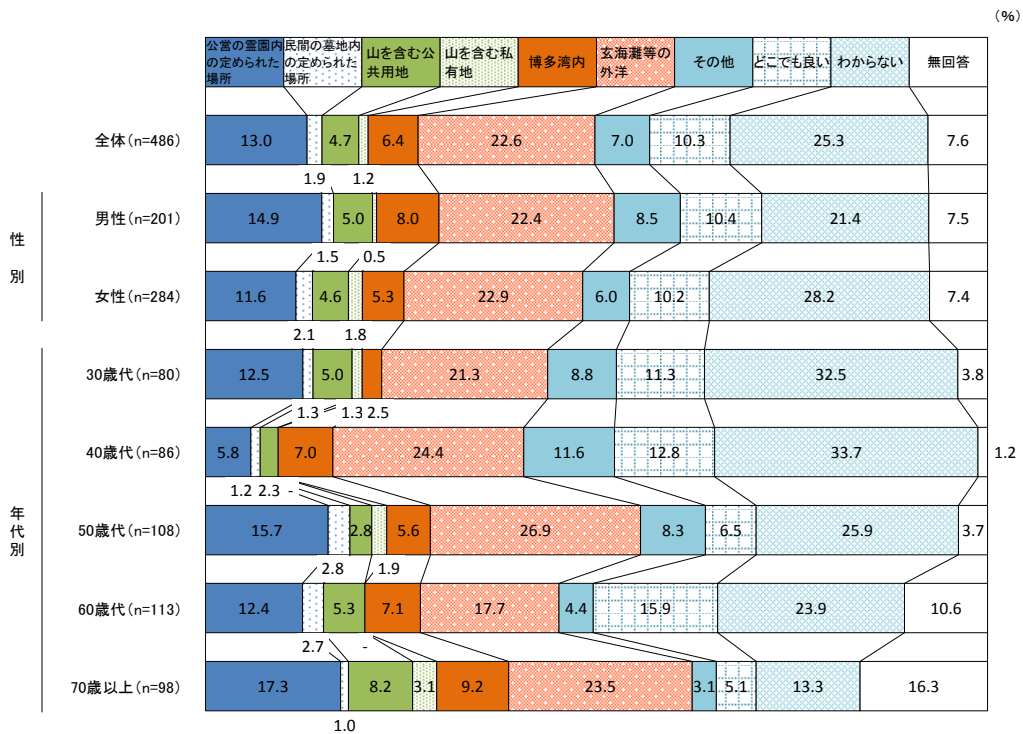
〔問14の散骨について肯定者のみに質問〕  
 あなたは散骨する場所についてどのようにお考えですか。(〇は1つだけ)

問14で「賛同する」「本人(故人)の希望であれば認めても良い」と答えた486人に散骨の希望場所を聞いたところ、「わからない」が25.3%で最も多く、次いで「玄界灘等の外洋」(22.6%)、「公営の霊園内の定められた場所」(13.0%)となっている。

性別では、特に差異はみられない。

年代別では、特に差異はみられない。

図表-2-45 散骨の希望場所【性別、年代別】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問 1 5 墓地・納骨堂の問題の有無

あなたは現在、お墓や納骨堂について何か問題を感じていますか。(○は1つだけ)

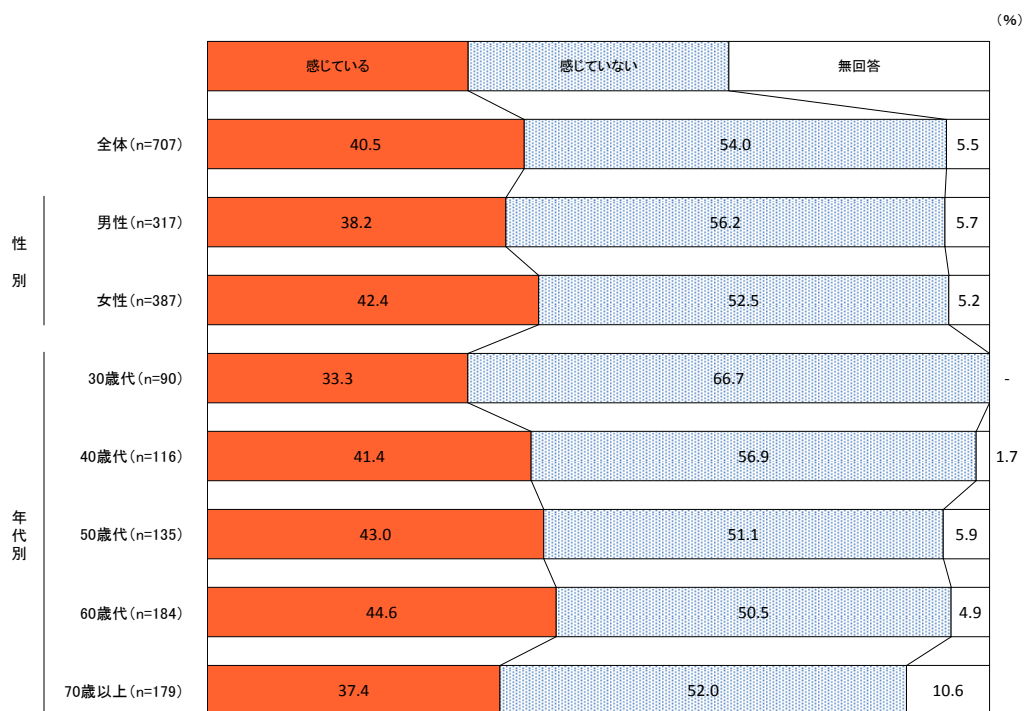
墓地・納骨堂の問題の有無について聞いたところ、「感じていない」が54.0%、「感じている」は40.5%となっている。

性別では、特に差異はみられない。

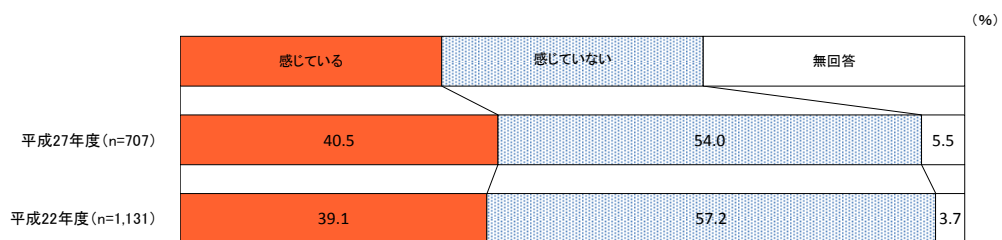
年代別に「感じている」をみると、40歳代(41.4%)・50歳代(43.0%)・60歳代(44.6%)で高くなっている。

過去の調査結果と比較してみても、特に差異はみられない。

図表－2－46 墓地・納骨堂の問題の有無【性別、年代別】



図表－2－47 墓地・納骨堂の問題の有無【過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問15-1 墓地・納骨堂の問題点（複数回答）

〔問15の墓地・納骨堂に問題を感じている人のみに質問〕  
それはどのような問題ですか。（〇はいくつでも）

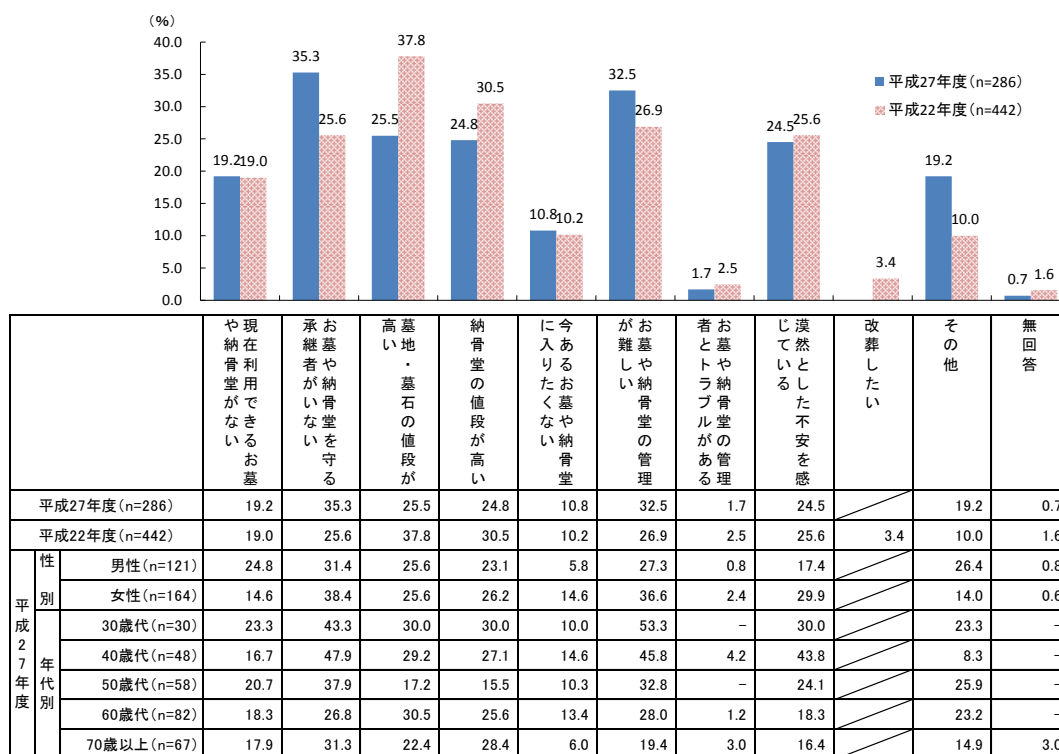
問15で「感じている」と答えた286人に墓地・納骨堂の問題点について聞いたところ、「お墓や納骨堂を守る承継者がいない」が35.3%で最も多く、次いで「お墓や納骨堂の管理が難しい」（32.5%）、「墓地・墓石の値段が高い」（25.5%）となっている。

性別では、特に差異はみられない。

年代別に「お墓や納骨堂の管理が難しい」をみると、40歳代（45.8%）等で他の年代に比べて高くなっている。

過去の調査結果と比較してみると、「お墓や納骨堂を守る承継者がいない」は、平成27年度（35.3%）が平成22年度（25.6%）より高くなっている。一方、「墓地・墓石の値段が高い」「納骨堂の値段が高い」は、平成22年度（37.8%、30.5%）が平成27年度（25.5%、24.8%）より高くなっている。

図表-2-48 墓地・納骨堂の問題点【性別、年代別、過去の調査結果との比較】



※選択肢「改葬したい」は、平成22年度のみ。

※図表上の「-」については、0.0を表す。

問 1 6 墓地・納骨堂に関して福岡市に求めるもの（複数回答）

あなたがお墓や納骨堂に関し、福岡市に求めるものは何ですか。（〇はいくつでも）

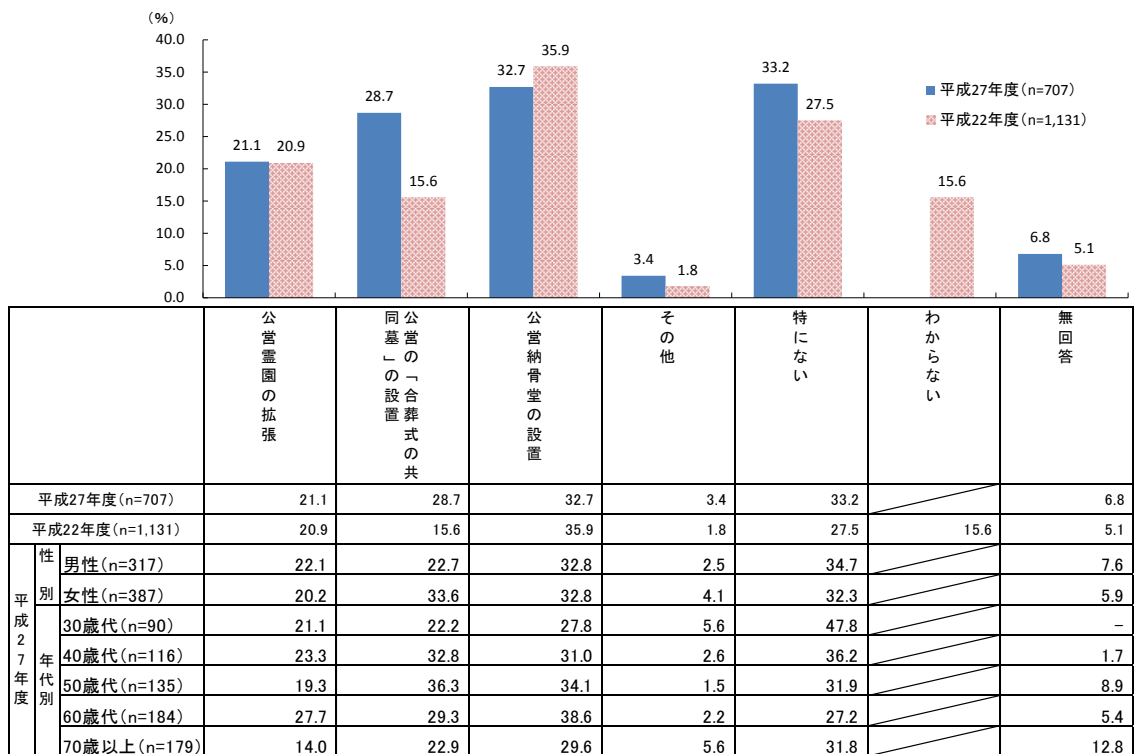
墓地・納骨堂に関して福岡市に求めるものについて、「特にない」が33.2%で最も多く、次いで「公営納骨堂の設置」（32.7%）、「公営の「合葬式の共同墓」の設置」（28.7%）となっている。

性別に「公営の「合葬式の共同墓」の設置」をみると、女性（33.6%）が男性（22.7%）より高くなっている。

年代別に「特にない」をみると、30歳代では47.8%となっており、他の年代に比べて高くなっている。

過去の調査結果と比較してみると、「公営の「合葬式の共同墓」の設置」は、平成27年度（28.7%）が平成22年度（15.6%）より高くなっている。

図表－2－49 墓地・納骨堂に関して福岡市に求めるもの【性別、年代別、過去の調査結果との比較】



※選択肢「わからない」は、平成22年度のみ。

※図表上の「-」については、0.0を表す。